

新エネルギー等概況調査 調査結果

団体・事業者

回収数：364件

※n値は、基本的に各設問における回答者数を示しています

※無回答、無効回答（単数設問で複数選択）は集計対象から除外しています

※SA：単数回答 MA：複数回答

※クロス集計を行っている部分は、表タイトルを濃い灰色地に白文字としています

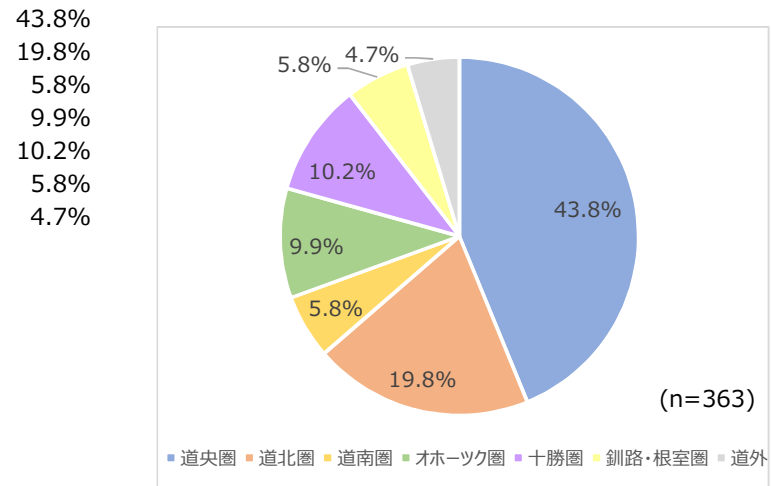
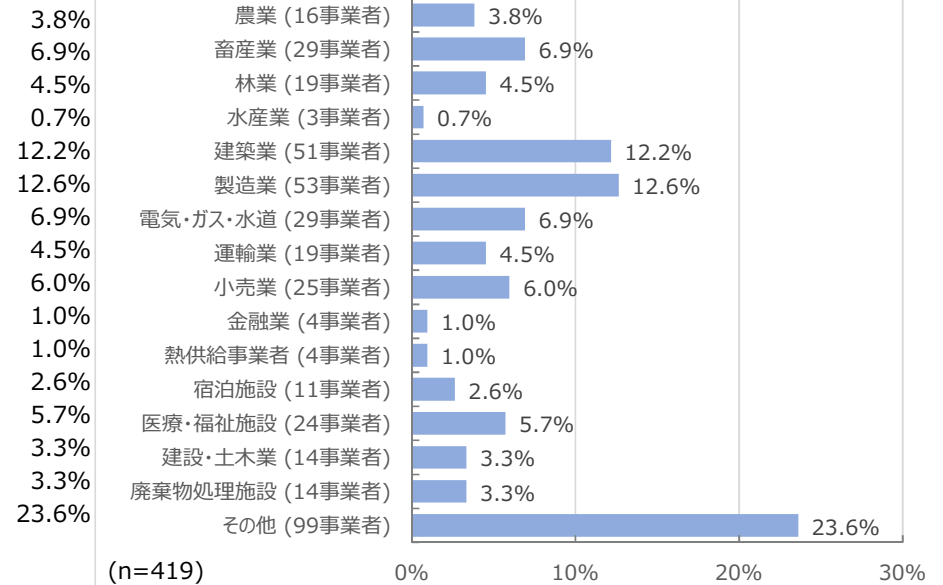
※ 業種別・地域別回収割合

選択肢	選択肢	事業者	団体	合計
農林水産業 (小計：事業者38、団体29 計67)	農業	10	6	16
	畜産業	21	8	29
	林業	7	12	19
	水産業	0	3	3
建築業	建築業	46	5	51
製造業	製造業	43	10	53
電気・ガス・水道	電気・ガス・水	23	6	29
運輸業	運輸業	16	3	19
小売業	小売業	18	7	25
金融業	金融業	1	3	4
その他 (小計：事業者81、団体90 計171)	熱供給事業者	3	1	4
	宿泊施設	11	0	11
	医療・福祉施設	4	20	24
	建設・土木業	17	2	14
	廃棄物処理施設	6	8	14
	その他	40	59	99
合計		266	153	419

(n=419)

選択肢	選択肢	事業者	団体	合計
道央圏	道央圏	122	37	159
道北圏	道北圏	49	23	72
道南圏	道南圏	16	5	21
オホーツク圏	オホーツク圏	23	13	36
十勝圏	十勝圏	23	14	37
釧路・根室圏	釧路・根室圏	15	6	21
道外	道外	15	2	17
合計	合計	263	100	363

(n=363)



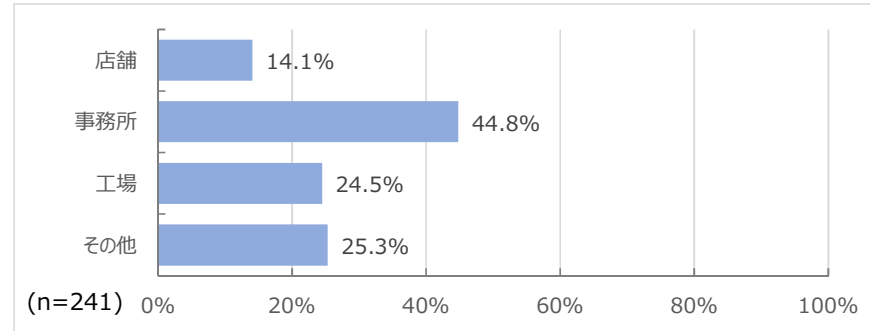
I - 1 事業者概要

※個別事業者の方のみお答えください

1 事業者の形態 (MA)

選択肢	回答数	構成比
店舗	34	14.1%
事務所	108	44.8%
工場	59	24.5%
その他	61	25.3%
合計	241	

(n=241)

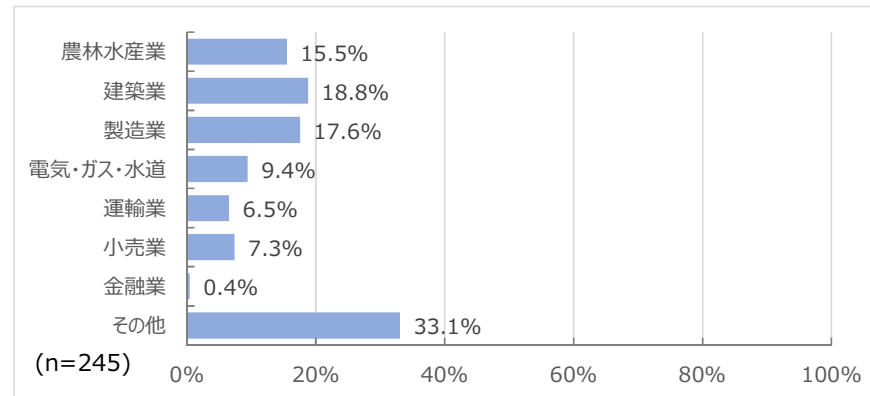


2 業種 (MA)

※個別事業者の方のみお答えください

選択肢	回答数	構成比
農林水産業	38	15.5%
建築業	46	18.8%
製造業	43	17.6%
電気・ガス・水道	23	9.4%
運輸業	16	6.5%
小売業	18	7.3%
金融業	1	0.4%
その他	81	33.1%
合計	245	

(n=245)



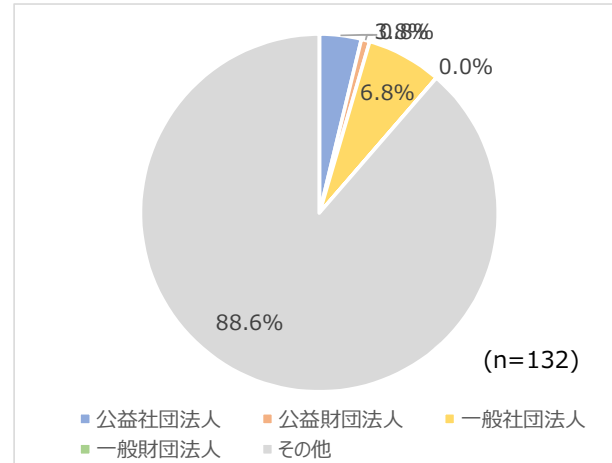
I - 2 団体等概要

※団体等の方のみお答えください

1 団体等の形態 (SA)

選択肢	回答数	構成比
公益社団法人	5	3.8%
公益財団法人	1	0.8%
一般社団法人	9	6.8%
一般財団法人	0	0.0%
その他	117	88.6%
合計	132	100.0%

(n=132)

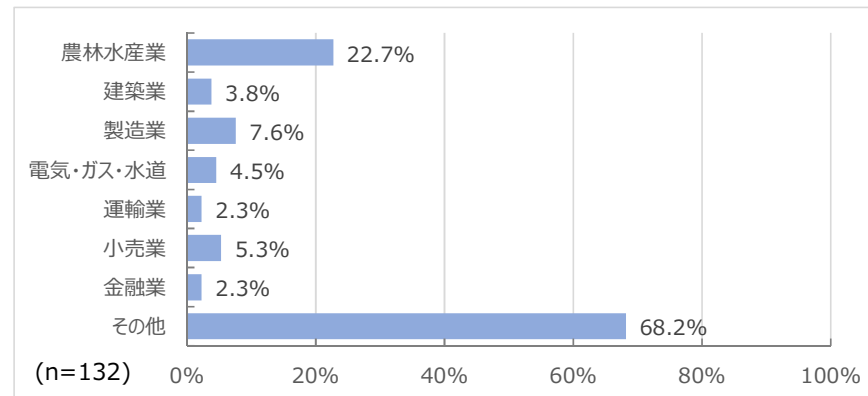


2 業種 (MA)

※団体等の方のみお答えください

選択肢	回答数	構成比
農林水産業	30	22.7%
建築業	5	3.8%
製造業	10	7.6%
電気・ガス・水道	6	4.5%
運輸業	3	2.3%
小売業	7	5.3%
金融業	3	2.3%
その他	90	68.2%
合計	132	

(n=132)

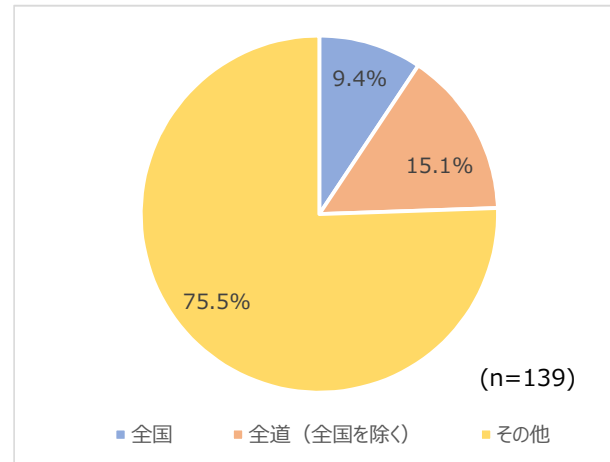


3 対象地域 (SA)

※団体等の方のみお答えください

選択肢	回答数	構成比
全国	13	9.4%
全道 (全国を除く)	21	15.1%
その他	105	75.5%
合計	139	100.0%

(n=139)

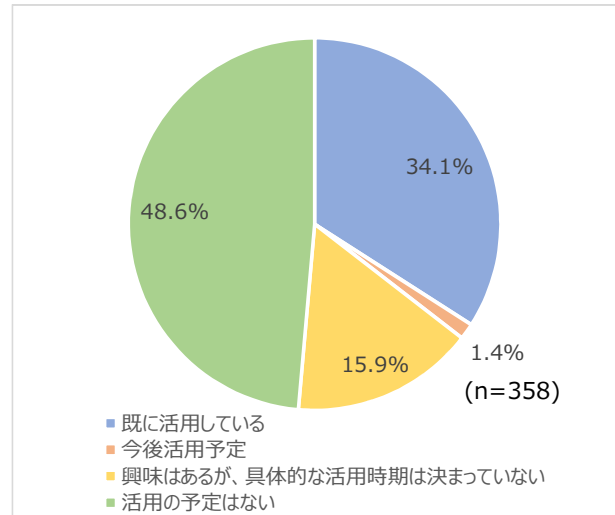


II 新エネ導入状況

1 新エネ導入状況 (SA)

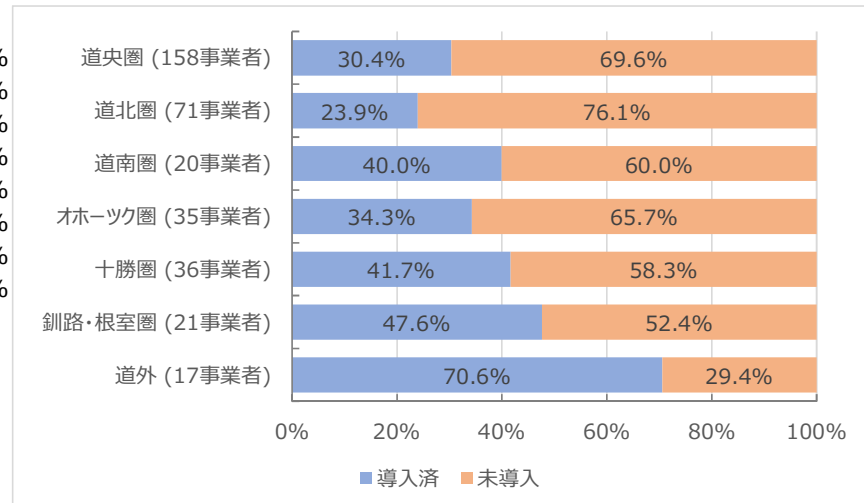
選択肢	回答数	構成比
既に活用している	122	34.1%
今後活用予定	5	1.4%
興味はあるが、具体的な活用時期は決まっていない	57	15.9%
活用の予定はない	174	48.6%
合計	358	100.0%

(n=358)



※6圏域別導入数

圏域	導入済	未導入	導入済	未導入
道央圏	48	110	30.4%	69.6%
道北圏	17	54	23.9%	76.1%
道南圏	8	12	40.0%	60.0%
オホーツク圏	12	23	34.3%	65.7%
十勝圏	15	21	41.7%	58.3%
釧路・根室圏	10	11	47.6%	52.4%
道外	12	5	70.6%	29.4%
合計	122	236	34.1%	65.9%



2 貴団体・事業者の新エネ施設うち稼働中のものについて

※別ファイルにて集計

3 貴団体・事業者の新エネ施設のうち整備中・計画中のものについて

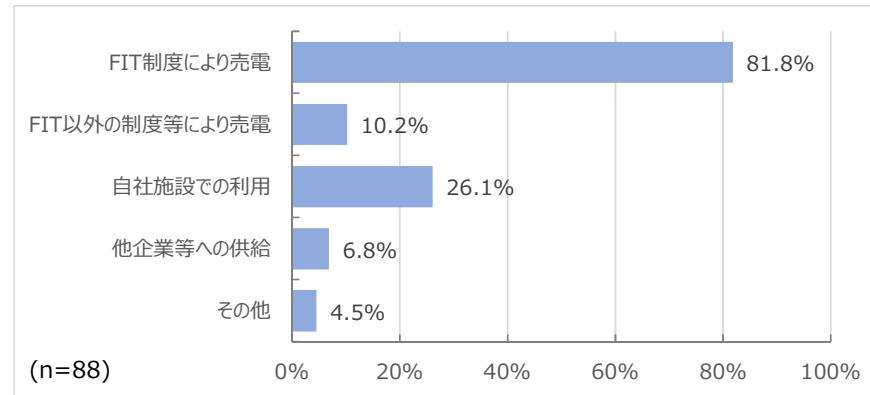
※別ファイルにて集計

5 新エネにより発電した電気の利用方法

新エネにより発電した電気の利用方法について (MA)

選択肢	回答数	構成比
FIT制度により売電	72	81.8%
FIT以外の制度等により売電	9	10.2%
自社施設での利用	23	26.1%
他企業等への供給	6	6.8%
その他	4	4.5%
合計	88	

(n=88)

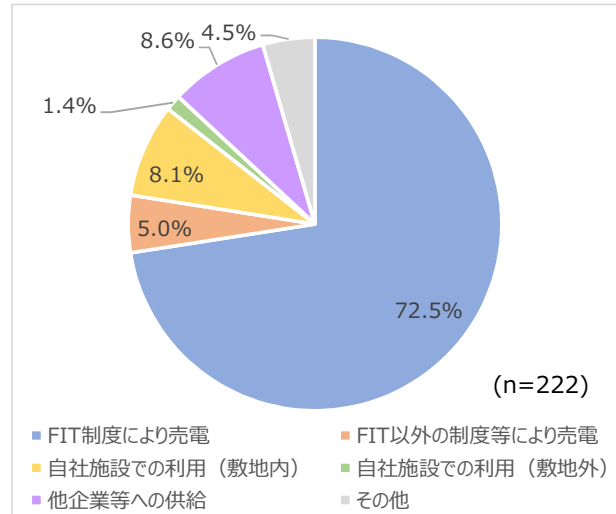


具体的な施設数（新エネにより発電した電気の利用方法について）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
FIT制度により売電	161	72.5%
FIT以外の制度等により売電	11	5.0%
自社施設での利用（敷地内）	18	8.1%
自社施設での利用（敷地外）	3	1.4%
他企業等への供給	19	8.6%
その他	10	4.5%
合計	222	100.0%

(n=222)

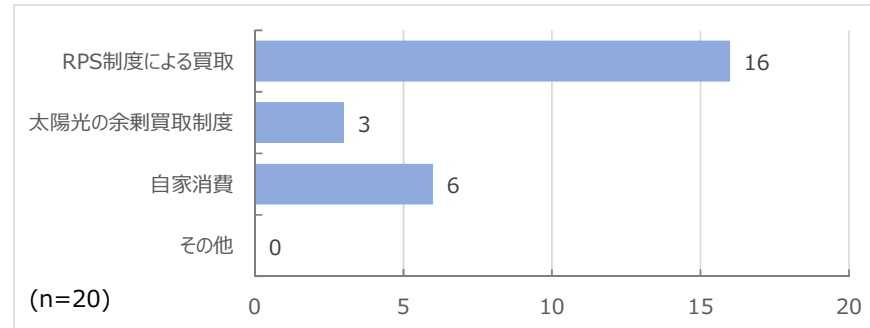


(n=222)

「FIT制度により売電」を選んだ方で、FIT以外の制度からFIT制度への切替を行っていた場合は、それ以前に活用していた制度についてお答えください（MA）

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	16	80.0%
太陽光の余剰買取制度	3	15.0%
自家消費	6	30.0%
その他	0	0.0%
合計	20	

(n=20)



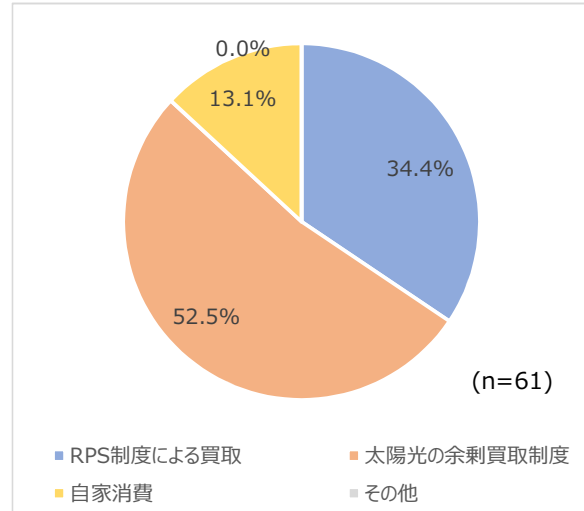
(n=20)

具体的な施設数（FIT以外の制度からFIT制度への切替を行っていた場合は、それ以前に活用していた制度）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	21	34.4%
太陽光の余剰買取制度	32	52.5%
自家消費	8	13.1%
その他	0	0.0%
合計	61	100.0%

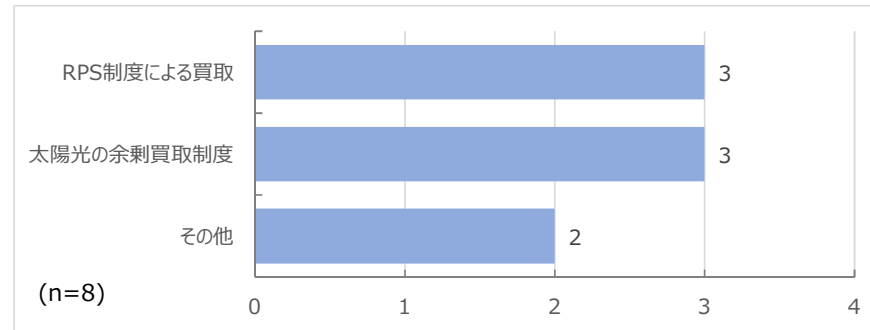
(n=61)



「FIT以外の制度等により売電」を選んだ方は、利用している売電制度についてもお答えください（MA）

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	3	37.5%
太陽光の余剰買取制度	3	37.5%
その他	2	25.0%
合計	8	

(n=8)

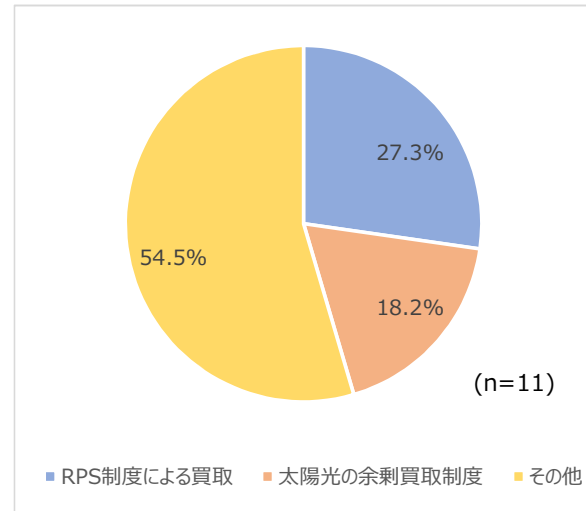


具体的な施設数（FIT以外で利用している売電制度）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
RPS制度による買取	3	27.3%
太陽光の余剰買取制度	2	18.2%
その他	6	54.5%
合計	11	100.0%

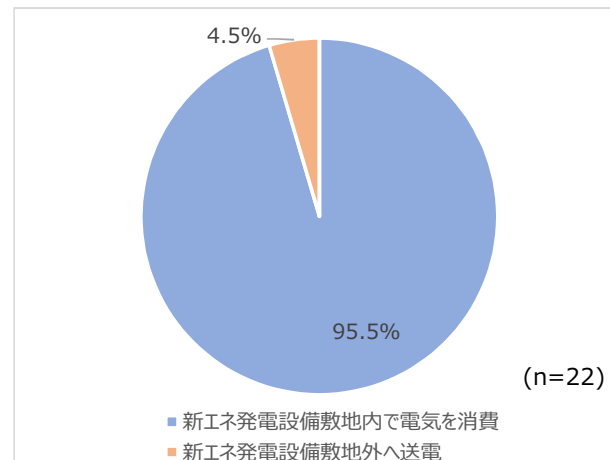
(n=11)



「自社施設での利用」を選んだ方は、電気の消費先についてもお答えください（SA）

選択肢	回答数	構成比
新工ネ発電設備敷地内で電気を消費	21	95.5%
新工ネ発電設備敷地外へ送電	1	4.5%
合計	22	100.0%

(n=22)

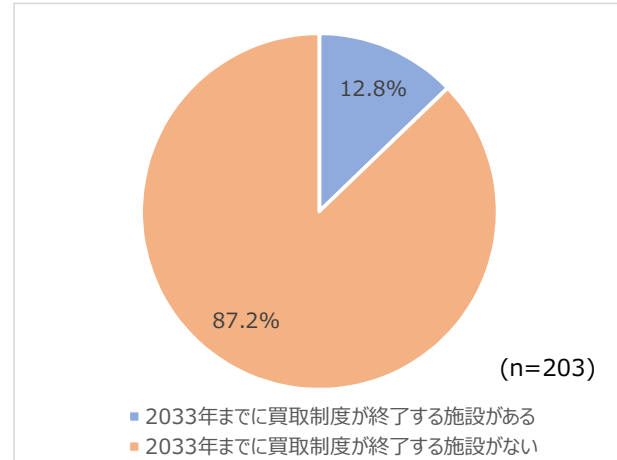


6 買取制度終了後の対応

買取制度終了後の対応 (SA)

選択肢	回答数	構成比
2033年までに買取制度が終了する施設がある	26	12.8%
2033年までに買取制度が終了する施設がない	177	87.2%
合計	203	100.0%

(n=203)

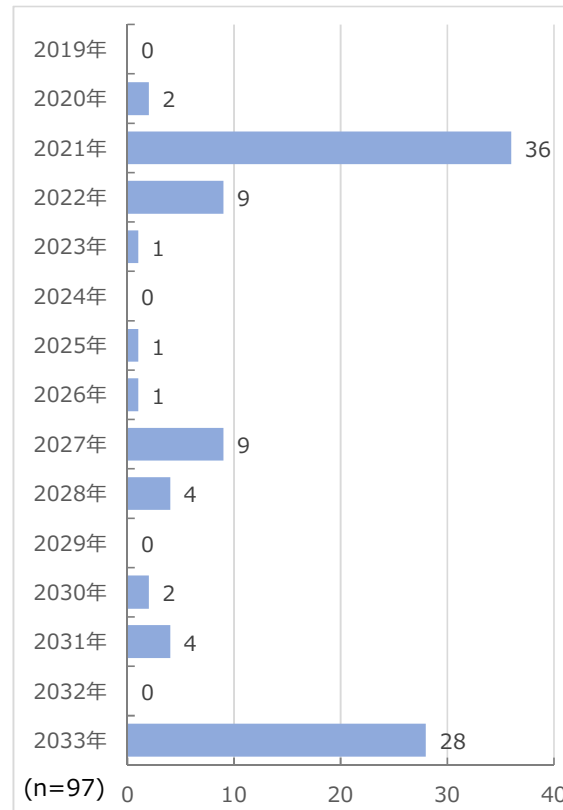


具体的な買取終了年数

※nは回答者数ではなく件数を示しています

選択肢	回答数	構成比
2019年	0	0.0%
2020年	2	2.1%
2021年	36	37.1%
2022年	9	9.3%
2023年	1	1.0%
2024年	0	0.0%
2025年	1	1.0%
2026年	1	1.0%
2027年	9	9.3%
2028年	4	4.1%
2029年	0	0.0%
2030年	2	2.1%
2031年	4	4.1%
2032年	0	0.0%
2033年	28	28.9%
合計	97	100.0%

(n=97)

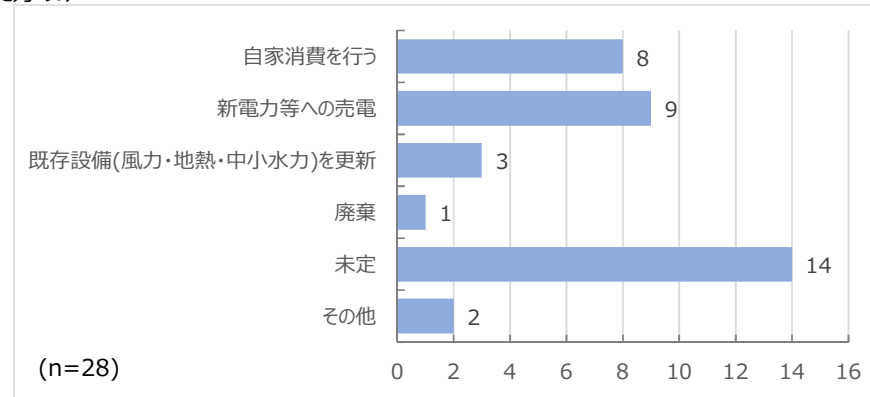


7 買取制度終了後の対応 (MA)

※「6 買取制度終了後の対応」で「2033年までに買取制度が終了する施設がある。」を選択した方のみ

選択肢	回答数	構成比
自家消費を行う	8	28.6%
新電力等への売電	9	32.1%
既存設備(風力・地熱・中小水力)を更新	3	10.7%
廃棄	1	3.6%
未定	14	50.0%
その他	2	7.1%
合計	28	

(n=28)

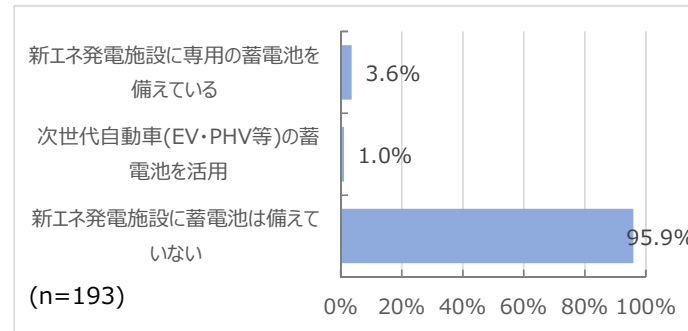


8 新エネ用の蓄電池等整備状況

新エネ用の蓄電池等整備状況について (MA)

選択肢	回答数	構成比
新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	7	3.6%
次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用	2	1.0%
新エネ発電施設に蓄電池は備えていない	185	95.9%
合計	193	

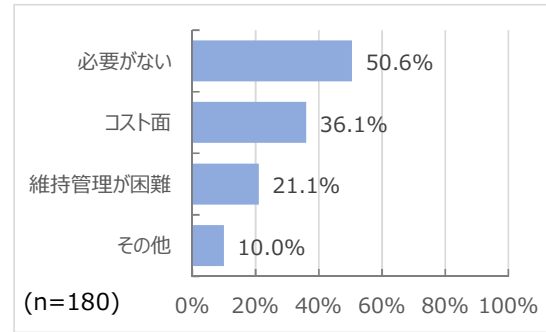
(n=193)



「新エネ発電施設に蓄電池は備えていない」を選んだ方は、備えていない理由についてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
必要がない	91	50.6%
コスト面	65	36.1%
維持管理が困難	38	21.1%
その他	18	10.0%
合計	180	

(n=180)



特徴的な内容

- ・全量売電しているため

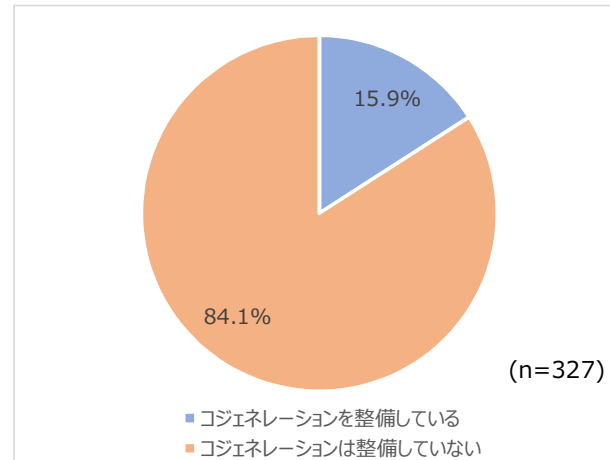
9 コジェネレーション整備状況

コジェネレーション整備状況 (SA)

選択肢	回答数	構成比
コジェネレーションを整備している	52	15.9%
コジェネレーションは整備していない	275	84.1%
合計	327	100.0%

※設備名は別シート

(n=327)



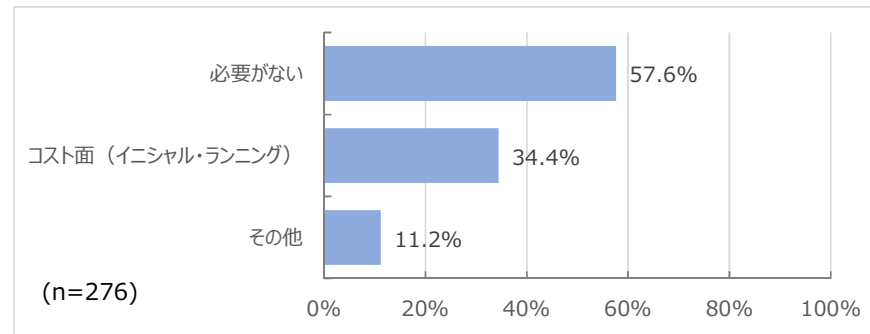
「コジェネレーションは整備していない」を選んだ方は、整備していない理由もお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
必要がない	159	57.6%
コスト面 (イニシャル・ランニング)	95	34.4%
その他	31	11.2%
合計	276	

(n=276)

特徴的な内容

- ・自社所有でない施設 (賃貸等) を利用しているため

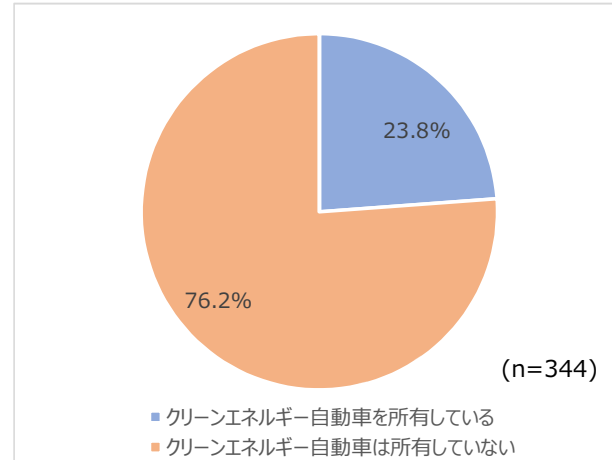


10 クリーンエネルギー自動車の所有状況

クリーンエネルギー自動車の所有状況について (SA)

選択肢	回答数	構成比
クリーンエネルギー自動車を所有している	82	23.8%
クリーンエネルギー自動車は所有していない	262	76.2%
合計	344	100.0%

(n=344)



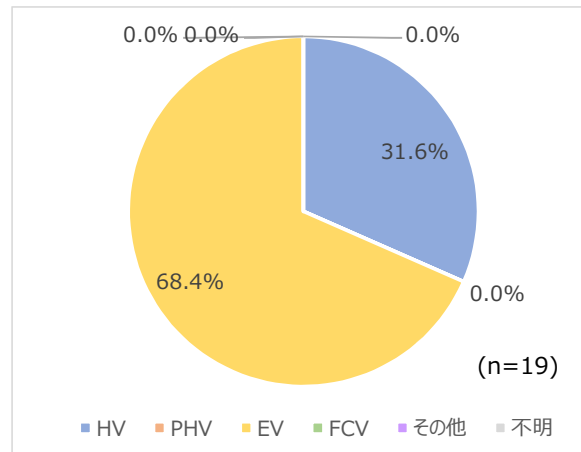
クリーンエネルギー自動車の車種

※nは回答者数ではなく車種数を示しています

※記述頂いた車種を分類しているため、HVとPHVが混同されている可能性があります

選択肢	回答数	構成比
HV	6	31.6%
PHV	0	0.0%
EV	13	68.4%
FCV	0	0.0%
その他	0	0.0%
不明	0	0.0%
合計	19	100.0%

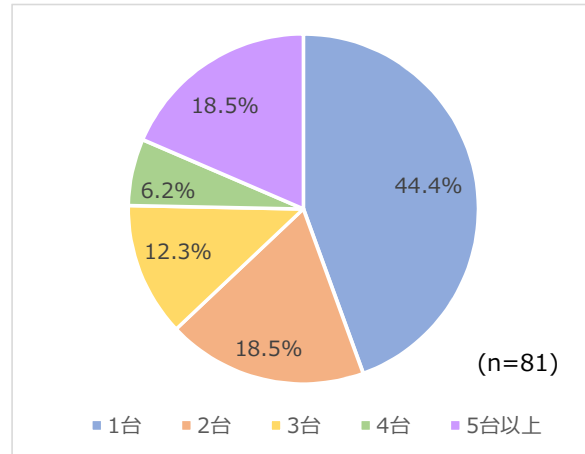
(n=19)



グリーンエネルギー自動車の総所持台数

選択肢	回答数	構成比
1台	36	44.4%
2台	15	18.5%
3台	10	12.3%
4台	5	6.2%
5台以上	15	18.5%
合計	81	100.0%

(n=81)

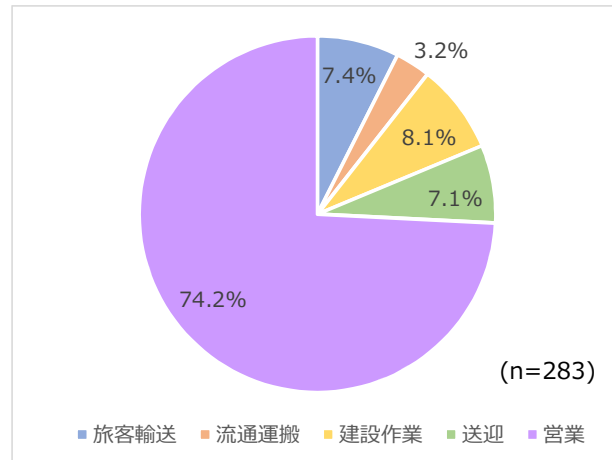


グリーンエネルギー自動車の用途別台数

※nは回答者数ではなく車両台数を示しています

選択肢	回答数	構成比
旅客輸送	21	7.4%
流通運搬	9	3.2%
建設作業	23	8.1%
送迎	20	7.1%
営業	210	74.2%
合計	283	100.0%

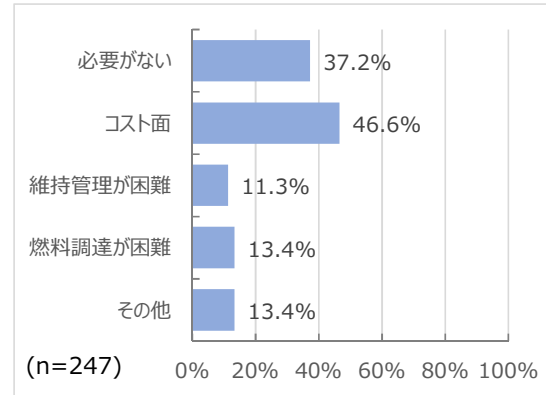
(n=283)



「クリーンエネルギー自動車の所有はない」を選んだ方は、理由についてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
必要がない	92	37.2%
コスト面	115	46.6%
維持管理が困難	28	11.3%
燃料調達が困難	33	13.4%
その他	33	13.4%
合計	247	

(n=247)



特徴的な内容

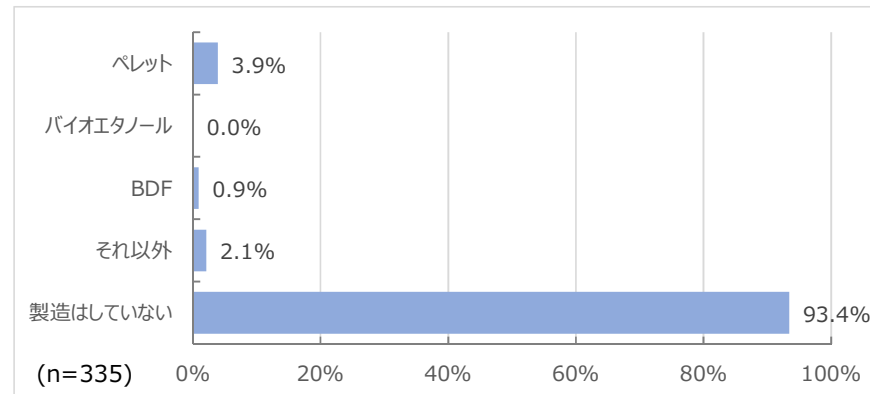
- ・日常利用に難があるため
- ・所有はしていないが、クリーンエネルギー自動車リース車を活用している

1 1 新エネルギー燃料製造

11-1 バイオマス燃料製造について (MA)

選択肢	回答数	構成比
ペレット	13	3.9%
バイオエタノール	0	0.0%
BDF	3	0.9%
それ以外	7	2.1%
製造はしていない	313	93.4%
合計	335	

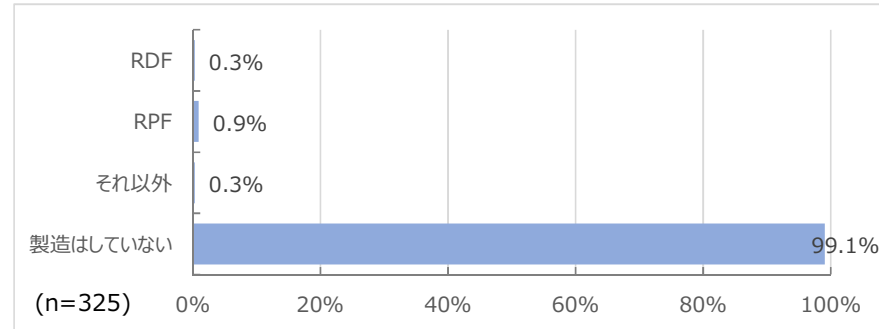
(n=335)



11-2 廃棄物燃料製造について (MA)

選択肢	回答数	構成比
RDF	1	0.3%
RPF	3	0.9%
それ以外	1	0.3%
製造はしていない	322	99.1%
合計	325	

(n=325)

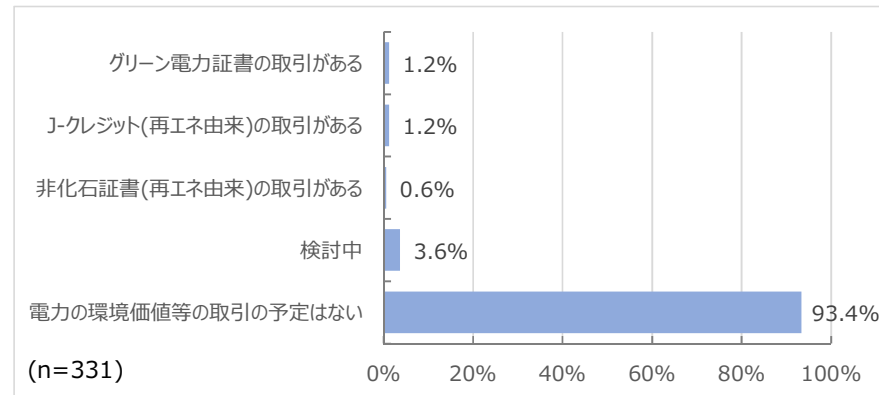


1 2 電力の環境価値等の取引について

電力の環境価値等の取引 (MA)

選択肢	回答数	構成比
グリーン電力証書の取引がある	4	1.2%
J-クレジット(再エネ由来)の取引がある	4	1.2%
非化石証書(再エネ由来)の取引がある	2	0.6%
検討中	12	3.6%
電力の環境価値等の取引の予定はない	309	93.4%
合計	331	

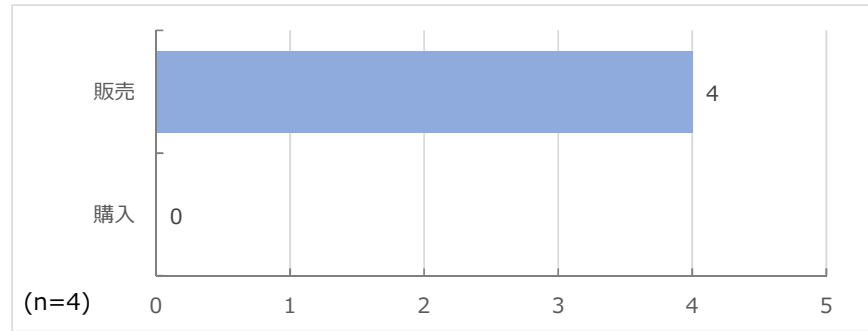
(n=331)



グリーン電力証書の取引詳細 (MA)

選択肢	回答数	構成比
販売	4	100.0%
購入	0	0.0%
合計	4	

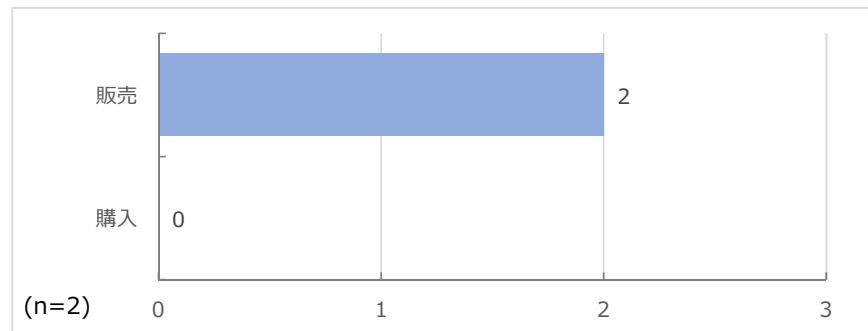
(n=4)



J-クレジット(再エネ由来)の取引詳細 (MA)

選択肢	回答数	構成比
販売	2	100.0%
購入	0	0.0%
合計	2	

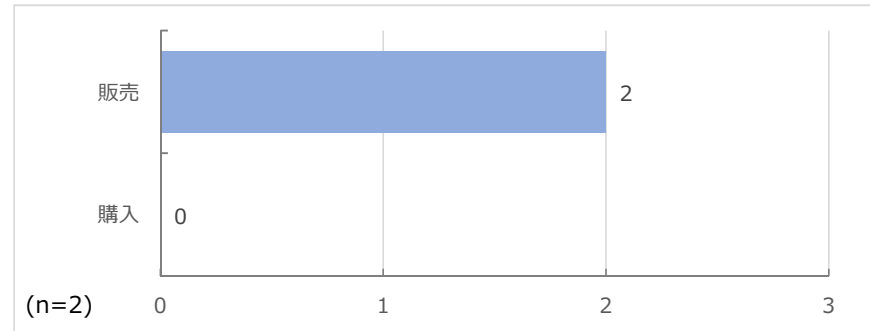
(n=2)



非化石証書(再エネ由来)の取引詳細 (MA)

選択肢	回答数	構成比
販売	2	100.0%
購入	0	0.0%
合計	2	

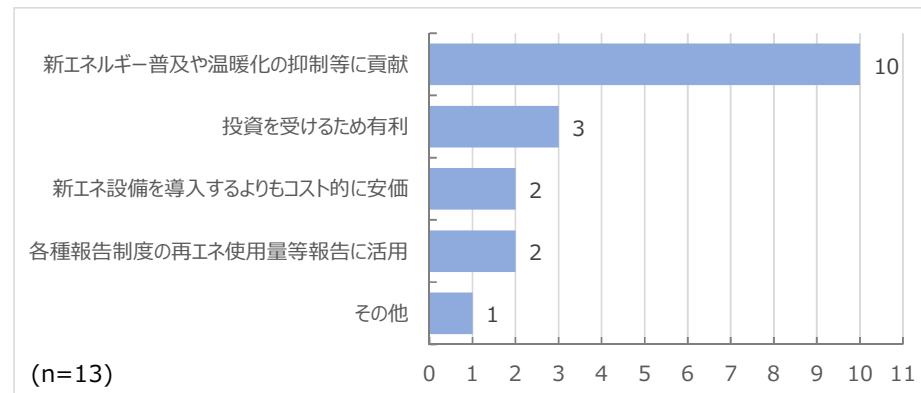
(n=2)



1.3 電力の環境価値等取引を行う理由 (MA)

選択肢	回答数	構成比
新エネルギー普及や温暖化の抑制等に貢献	10	76.9%
投資を受けるため有利	3	23.1%
新エネ設備を導入するよりもコスト的に安価	2	15.4%
各種報告制度の再エネ使用量等報告に活用	2	15.4%
その他	1	7.7%
合計	13	

(n=13)



Ⅲ 新エネ導入の課題

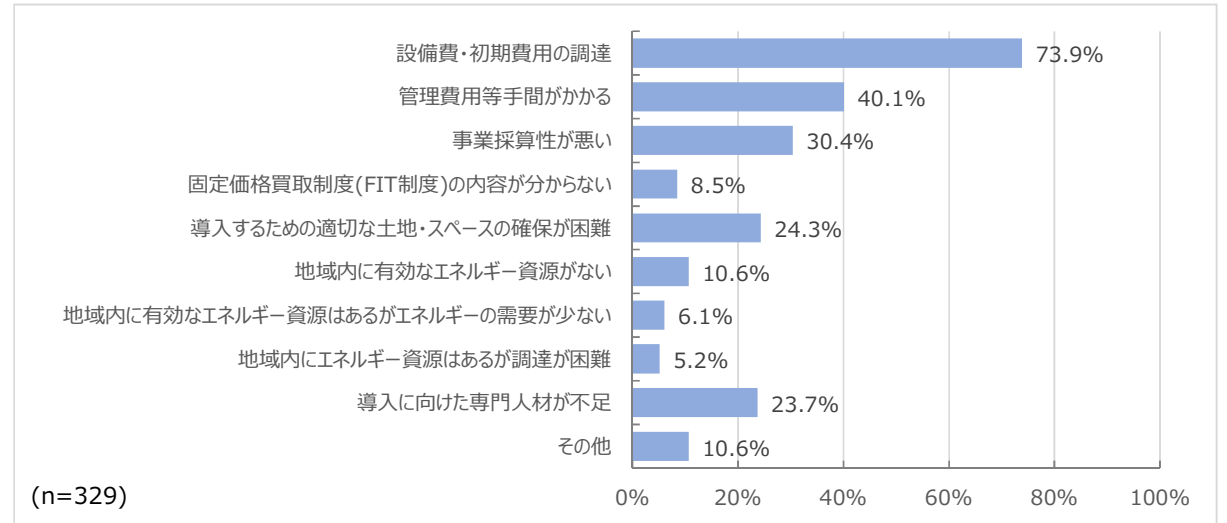
1 新エネ導入の課題について (MA)

選択肢	回答数	構成比
設備費・初期費用の調達	243	73.9%
管理費用等手間がかかる	132	40.1%
事業採算性が悪い	100	30.4%
固定価格買取制度(FIT制度)の内容が分からない	28	8.5%
導入するための適切な土地・スペースの確保が困難	80	24.3%
地域内に有効なエネルギー資源がない	35	10.6%
地域内に有効なエネルギー資源はあるがエネルギーの需要が少ない	20	6.1%
地域内にエネルギー資源はあるが調達が困難	17	5.2%
導入に向けた専門人材が不足	78	23.7%
その他	35	10.6%
合計	329	

(n=329)

特徴的な内容

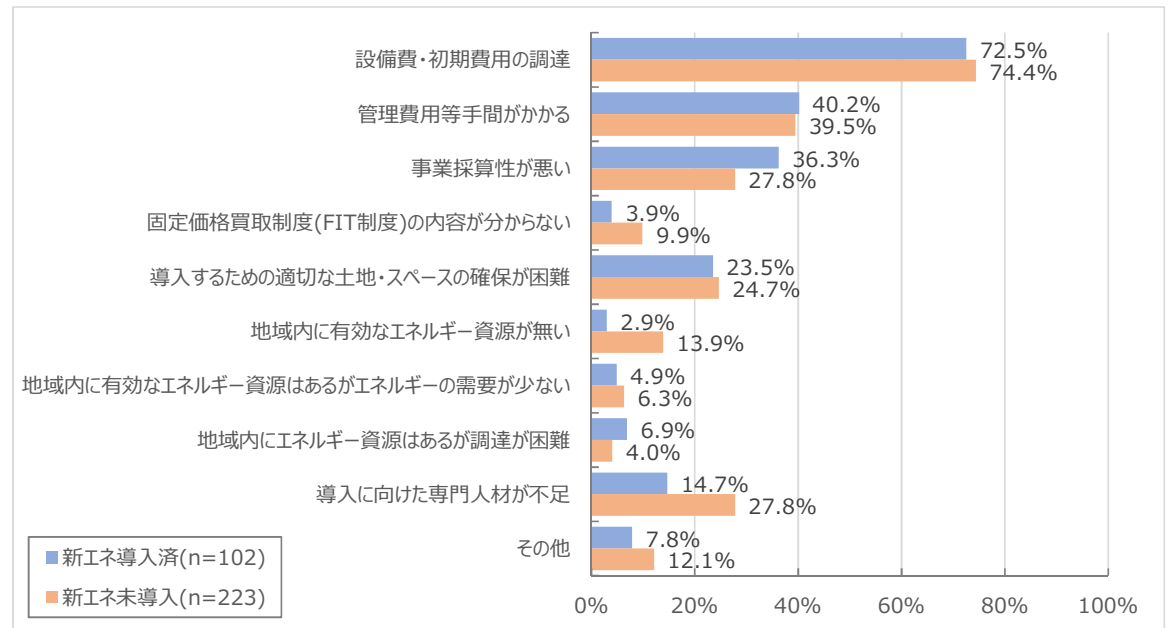
- ・系統の空き容量不足



新エネ導入の有無と新エネ導入の課題のクロス

選択肢	新エネ導入 済	新エネ未導 入	新エネ導入 済	新エネ未導 入
設備費・初期費用の調達	74	166	72.5%	74.4%
管理費用等手間がかかる	41	88	40.2%	39.5%
事業採算性が悪い	37	62	36.3%	27.8%
固定価格買取制度(FIT制度)の内容が分からない	4	22	3.9%	9.9%
導入するための適切な土地・スペースの確保が困難	24	55	23.5%	24.7%
地域内に有効なエネルギー資源が無い	3	31	2.9%	13.9%
地域内に有効なエネルギー資源はあるがエネルギーの需要が少ない	5	14	4.9%	6.3%
地域内にエネルギー資源はあるが調達が困難	7	9	6.9%	4.0%
導入に向けた専門人材が不足	15	62	14.7%	27.8%
その他	8	27	7.8%	12.1%
合計	102	223		

(n=102) (n=223)

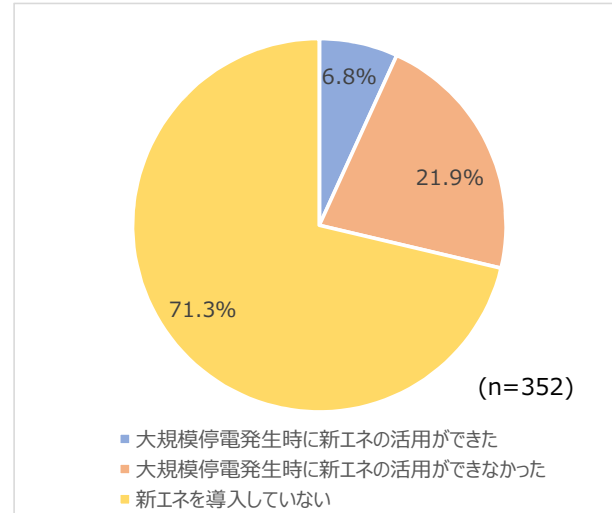


IV 災害時の新エネ活用状況

1 平成30年9月の震災・大規模停電時における新エネ活用状況 (SA)

選択肢	回答数	構成比
大規模停電発生時に新エネの活用ができた	24	6.8%
大規模停電発生時に新エネの活用ができなかった	77	21.9%
新エネを導入していない	251	71.3%
合計	352	100.0%

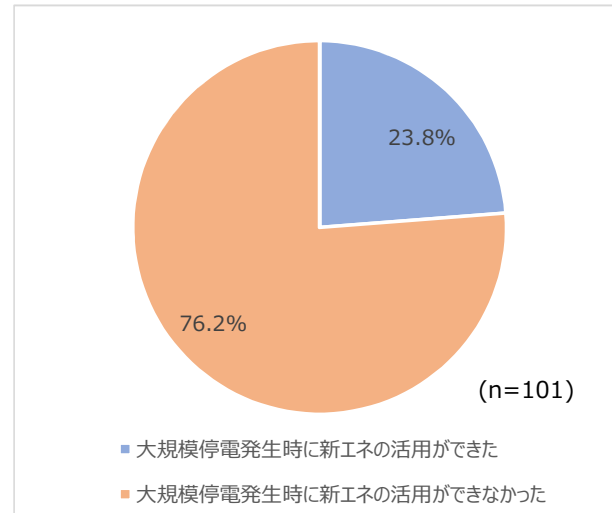
(n=352)



※新エネ導入のみの割合

選択肢	回答数	構成比
大規模停電発生時に新エネの活用ができた	24	23.8%
大規模停電発生時に新エネの活用ができなかった	77	76.2%
合計	101	100.0%

(n=101)



V 省エネの取組

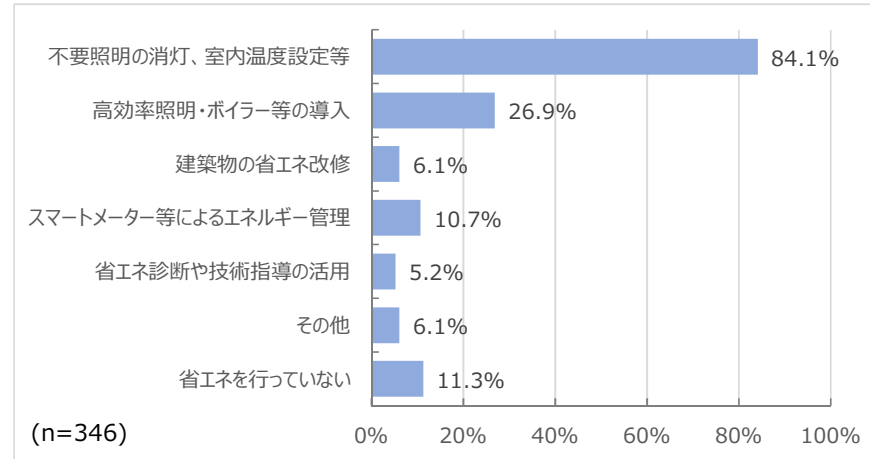
1 省エネの取組について (MA)

選択肢	回答数	構成比
不要照明の消灯、室内温度設定等	291	84.1%
高効率照明・ボイラー等の導入	93	26.9%
建築物の省エネ改修	21	6.1%
スマートメーター等によるエネルギー管理	37	10.7%
省エネ診断や技術指導の活用	18	5.2%
その他	21	6.1%
省エネを行っていない	39	11.3%
合計	346	

(n=346)

特徴的な内容

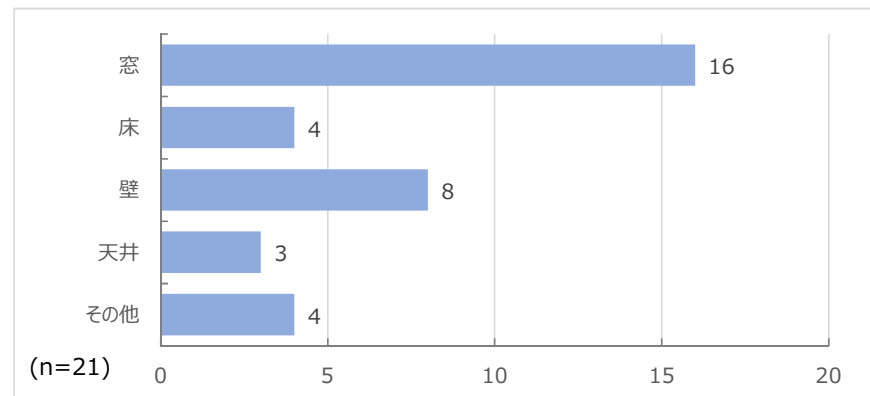
- ・省エネルギー施策の立案・実施をプロジェクトとして推進



「建築物の省エネ改修」を選んだ方は、改修箇所についてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
窓	16	76.2%
床	4	19.0%
壁	8	38.1%
天井	3	14.3%
その他	4	19.0%
合計	21	

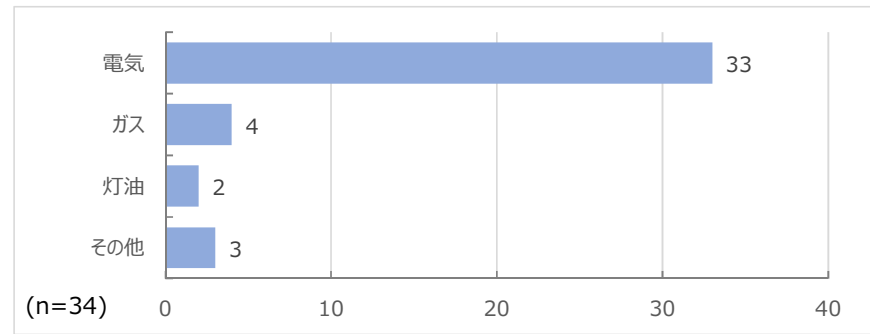
(n=21)



「スマートメーターによるエネルギー管理」を選んだ方は、管理対象エネルギーについてもお答えください (MA)

選択肢	回答数	構成比
電気	33	97.1%
ガス	4	11.8%
灯油	2	5.9%
その他	3	8.8%
合計	34	

(n=34)

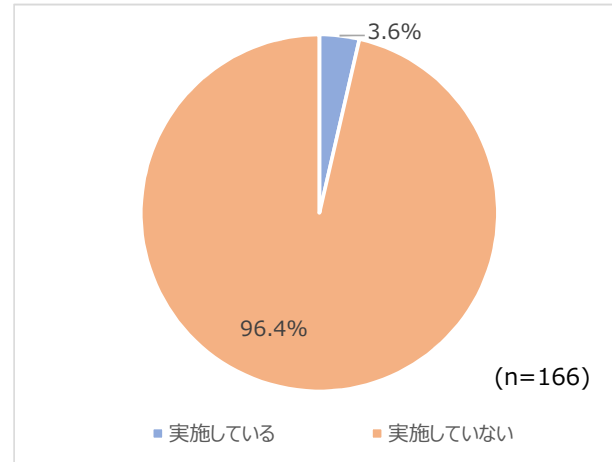


VI 省エネ・新エネ関連事業

1 団体等における省エネ・新エネ支援事業について (SA)

選択肢	回答数	構成比
実施している	6	3.6%
実施していない	160	96.4%
合計	166	100.0%

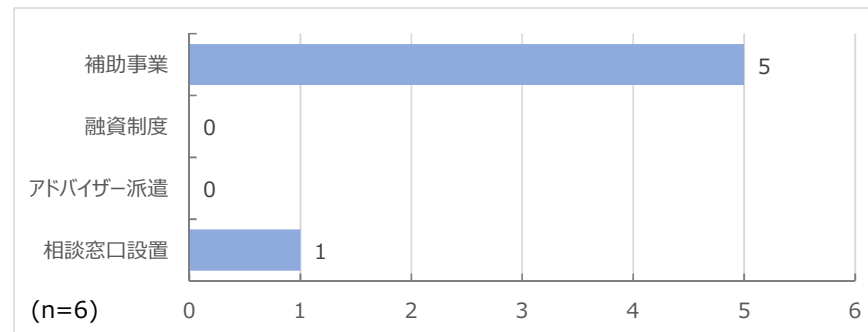
(n=166)



2 実施している場合の支援内容 (MA)

選択肢	回答数	構成比
補助事業	5	83.3%
融資制度	0	0.0%
アドバイザー派遣	0	0.0%
相談窓口設置	1	16.7%
合計	6	

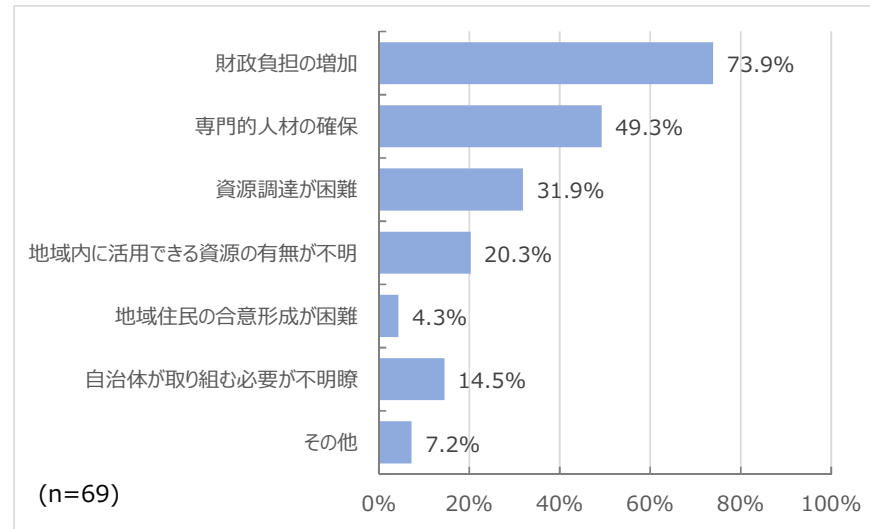
(n=6)



3 省エネ新エネ関連事業実施における課題について (MA)

選択肢	回答数	構成比
財政負担の増加	51	73.9%
専門的人材の確保	34	49.3%
資源調達が困難	22	31.9%
地域内に活用できる資源の有無が不明	14	20.3%
地域住民の合意形成が困難	3	4.3%
自治体が取り組む必要が不明瞭	10	14.5%
その他	5	7.2%
合計	69	

(n=69)



VII 国・道・市町村に求める施策

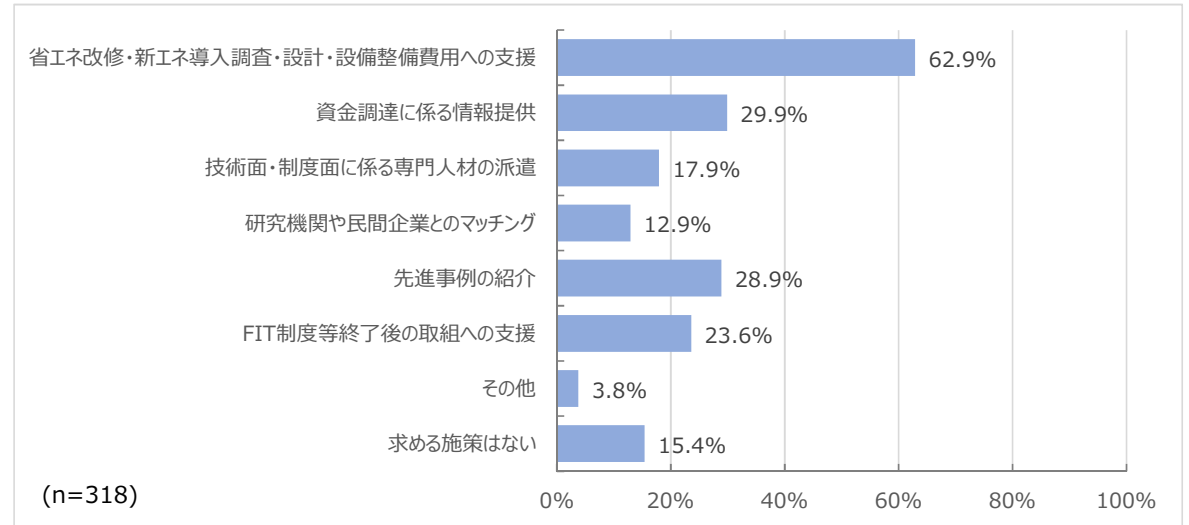
1 国に求める施策 (MA)

選択肢	回答数	構成比
省エネ改修・新エネ導入調査・設計・設備整備費用への支援	200	62.9%
資金調達に係る情報提供	95	29.9%
技術面・制度面に係る専門人材の派遣	57	17.9%
研究機関や民間企業とのマッチング	41	12.9%
先進事例の紹介	92	28.9%
FIT制度等終了後の取組への支援	75	23.6%
その他	12	3.8%
求める施策はない	49	15.4%
合計	318	

(n=318)

特徴的な内容

- ・送電線の整備
- ・原発か新エネ推進かはっきりしてほしい
- ・補助・支援の手続きの煩雑さの軽減
- ・停電時の活用の支援等
- ・廃棄物処理施設の系統連系に係る優先的適用



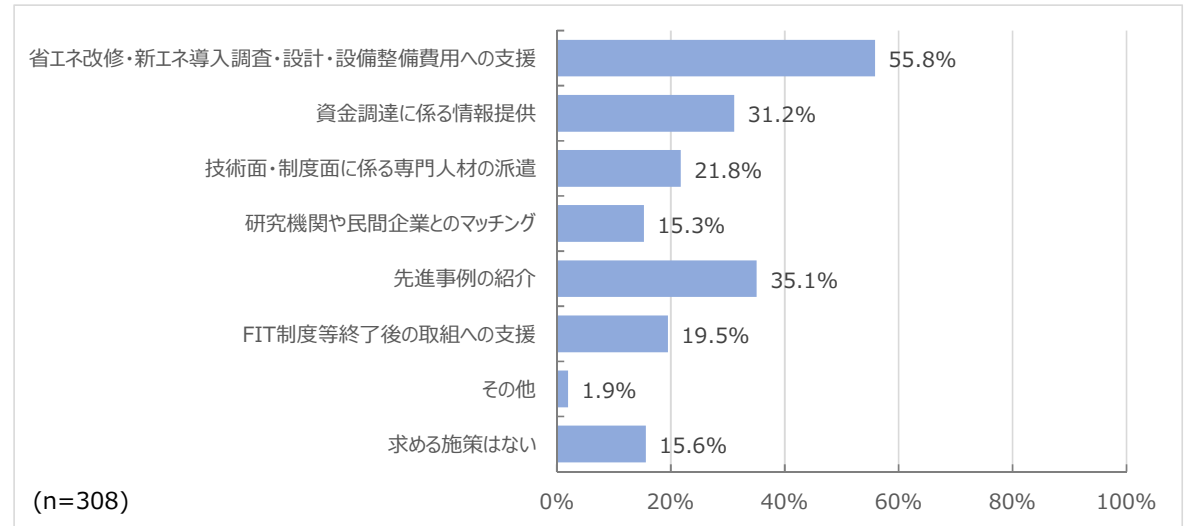
1 道に求める施策 (MA)

選択肢	回答数	構成比
省エネ改修・新エネ導入調査・設計・設備整備費用への支援	172	55.8%
資金調達に係る情報提供	96	31.2%
技術面・制度面に係る専門人材の派遣	67	21.8%
研究機関や民間企業とのマッチング	47	15.3%
先進事例の紹介	108	35.1%
FIT制度等終了後の取組への支援	60	19.5%
その他	6	1.9%
求める施策はない	48	15.6%
合計	308	

(n=308)

特徴的な内容

- ・送電線の整備
- ・補助・支援の手続きの煩雑さの軽減
- ・太陽光パネルの廃棄にかかる支援



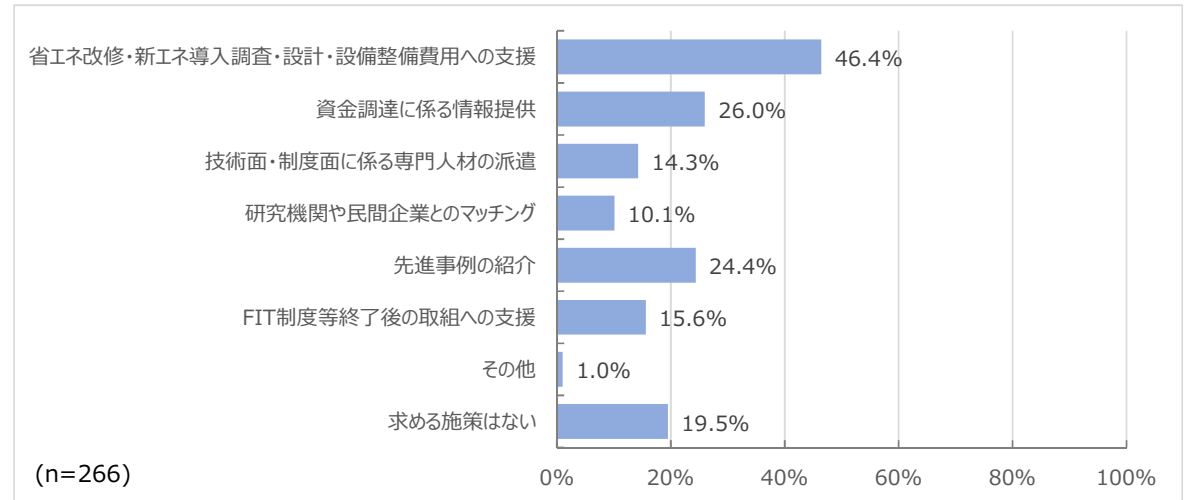
1 市町村に求める施策 (MA)

選択肢	回答数	構成比
省エネ改修・新エネ導入調査・設計・設備整備費用への支援	143	46.4%
資金調達に係る情報提供	80	26.0%
技術面・制度面に係る専門人材の派遣	44	14.3%
研究機関や民間企業とのマッチング	31	10.1%
先進事例の紹介	75	24.4%
FIT制度等終了後の取組への支援	48	15.6%
その他	3	1.0%
求める施策はない	60	19.5%
合計	266	

(n=266)

特徴的な内容

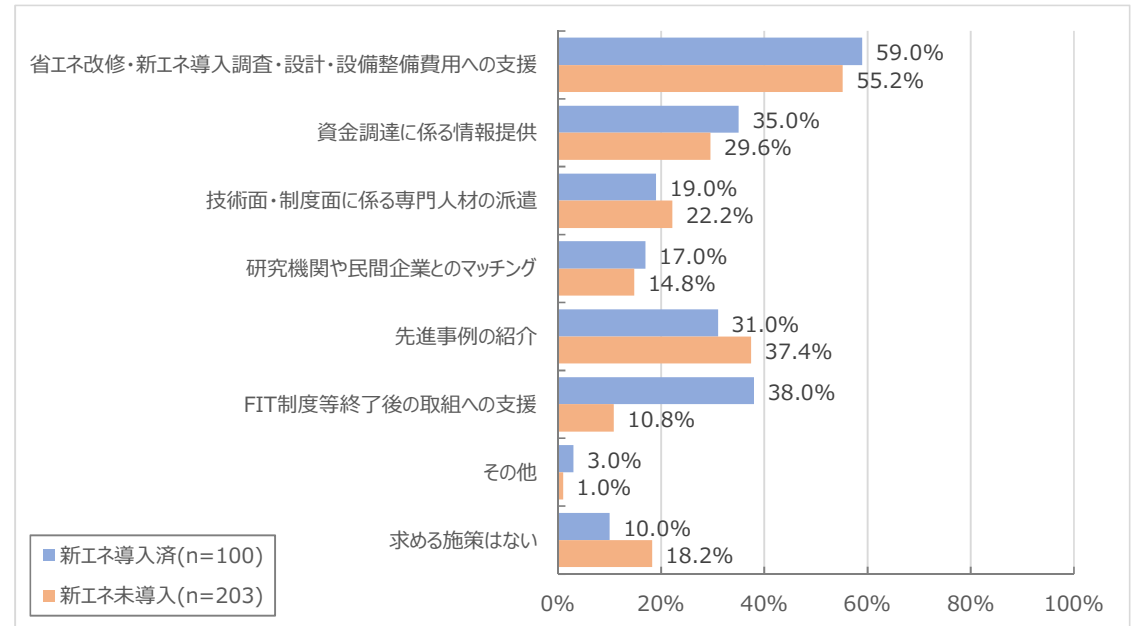
- ・送電線の整備
- ・補助・支援の手続きの煩雑さの軽減



新工ネ導入の有無と道に求める施策のクロス

選択肢	新工ネ導入 済	新工ネ未導 入	新工ネ導入 済	新工ネ未導 入
省工ネ改修・新工ネ導入調査・設計・設備整備費用への支援	59	112	59.0%	55.2%
資金調達に係る情報提供	35	60	35.0%	29.6%
技術面・制度面に係る専門人材の派遣	19	45	19.0%	22.2%
研究機関や民間企業とのマッチング	17	30	17.0%	14.8%
先進事例の紹介	31	76	31.0%	37.4%
FIT制度等終了後の取組への支援	38	22	38.0%	10.8%
その他	3	2	3.0%	1.0%
求める施策はない	10	37	10.0%	18.2%
合計	100	203		

(n=100) (n=203)



新エネルギー等概況調査 調査結果

団体・事業者（別紙）

（設問Ⅱ-2～Ⅱ-4部分及び関連するクロス集計部分）

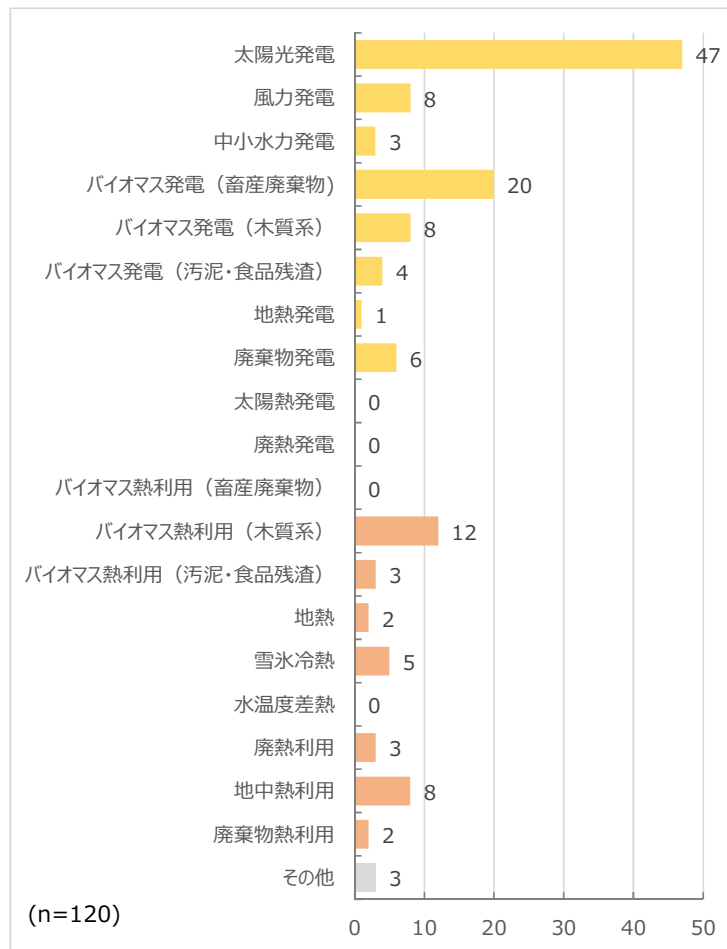
Ⅱ 新エネ導入状況

2 貴団体・事業者の新エネ施設うち稼働中のものについて

【稼働中】新エネの種類(MA)

選択肢	回答数	構成比
太陽光発電	47	39.2%
風力発電	8	6.7%
中小水力発電	3	2.5%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	20	16.7%
バイオマス発電（木質系）	8	6.7%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	4	3.3%
地熱発電	1	0.8%
廃棄物発電	6	5.0%
太陽熱発電	0	0.0%
廃熱発電	0	0.0%
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0.0%
バイオマス熱利用（木質系）	12	10.0%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	3	2.5%
地熱	2	1.7%
雪氷冷熱	5	4.2%
水温度差熱	0	0.0%
廃熱利用	3	2.5%
地中熱利用	8	6.7%
廃棄物熱利用	2	1.7%
その他	3	2.5%
合計	120	

(n=120)



【稼働中】導入目的 (MA)

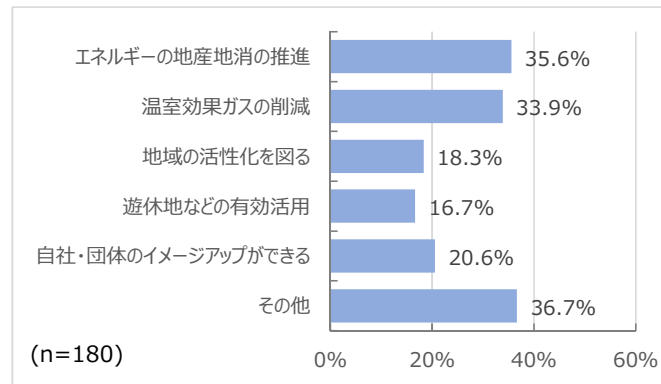
※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
エネルギーの地産地消の推進	64	35.6%
温室効果ガスの削減	61	33.9%
地域の活性化を図る	33	18.3%
遊休地などの有効活用	30	16.7%
自社・団体のイメージアップができる	37	20.6%
その他	66	36.7%
回答者数	180	

(n=180)

特徴的な内容

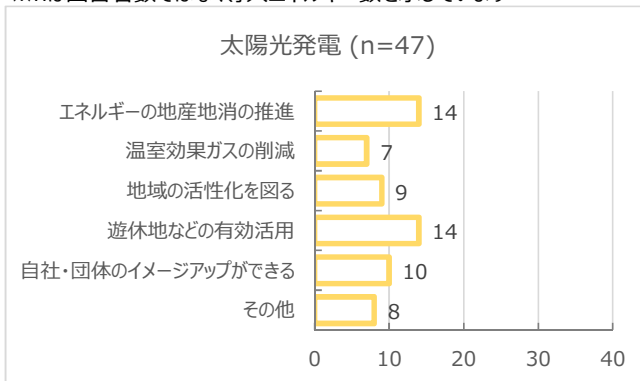
- ・売電
- ・建築廃材の有効活用 (木質バイオマス)



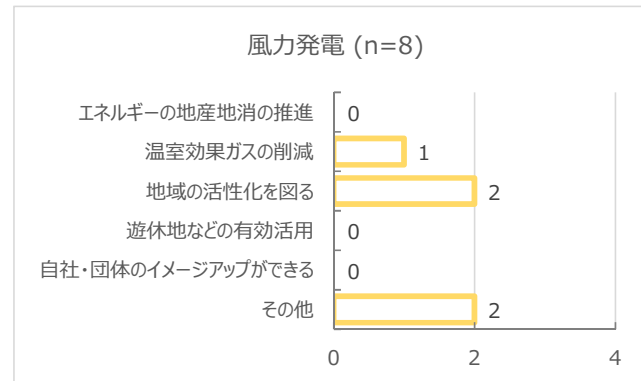
導入目的と稼働中新エネ種類のクロス集計

	エネルギーの 地産地消の 推進	温室効果ガス の削減	地域の活性 化を図る	遊休地などの 有効活用	自社・団体の イメージアップ ができる	その他	エネルギーの 地産地消の 推進	温室効果ガス の削減	地域の活性 化を図る	遊休地などの 有効活用	自社・団体の イメージアップ ができる	その他
太陽光発電	14	7	9	14	10	8	29.8%	14.9%	19.1%	29.8%	21.3%	17.0%
風力発電	0	1	2	0	0	2	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
中小水力発電	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	6	3	3	0	3	10	30.0%	15.0%	15.0%	0.0%	15.0%	50.0%
バイオマス発電（木質系）	3	2	2	2	1	1	37.5%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	12.5%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	3	2	0	0	0	2	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
地熱発電	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
廃棄物発電	1	2	0	0	0	3	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
太陽熱発電	0	0	0	0	0	0						
廃熱発電	0	0	0	0	0	0						
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0	0	0	0	0						
バイオマス熱利用（木質系）	5	4	3	0	1	3	41.7%	33.3%	25.0%	0.0%	8.3%	25.0%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	0	0	0	0	0	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
地熱	0	2	0	0	1	0	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
雪氷冷熱	1	2	2	0	2	0	20.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%
水温度差熱	0	0	0	0	0	0						
廃熱利用	0	2	1	1	1	0	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
地中熱利用	2	4	0	0	3	0	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%
廃棄物熱利用	0	0	0	0	0	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
その他	1	1	0	0	0	2	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
合計	36	32	22	17	22	34	30.0%	26.7%	18.3%	14.2%	18.3%	28.3%

※nは回答者数ではなく導入エネルギー数を示しています

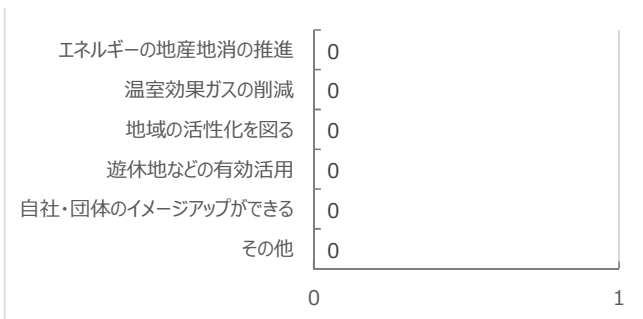


・主なその他内容：発電事業（売電）のため

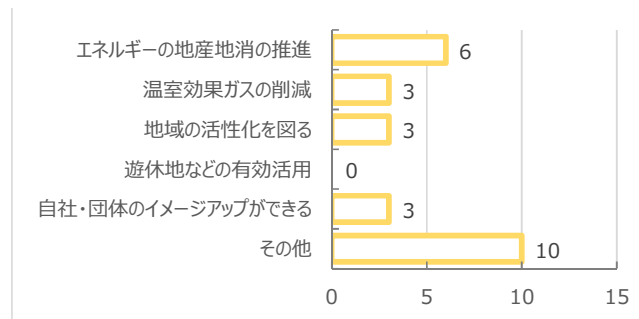
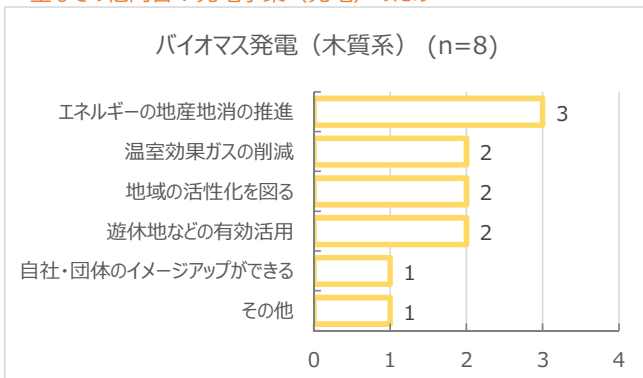


・主なその他内容：発電事業（売電）のため

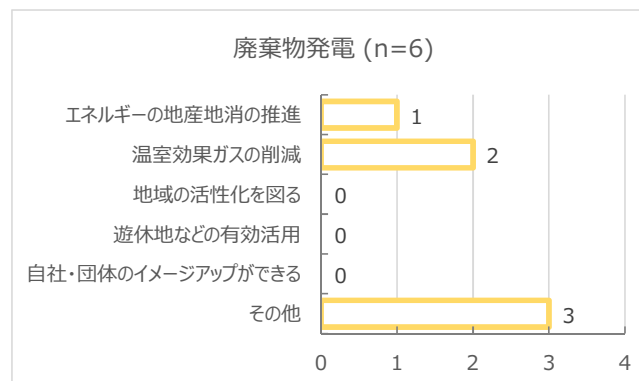
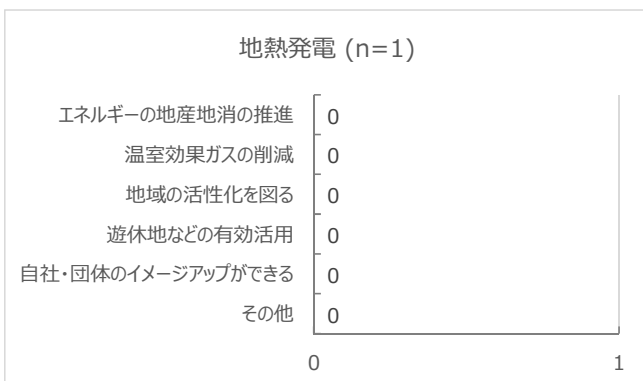
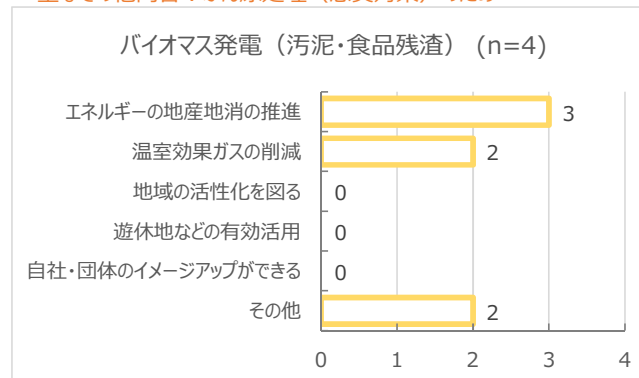


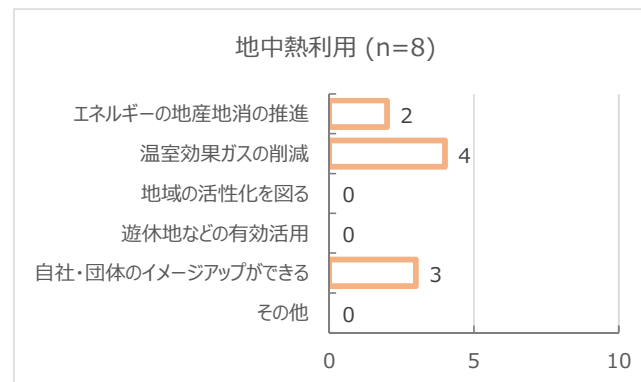
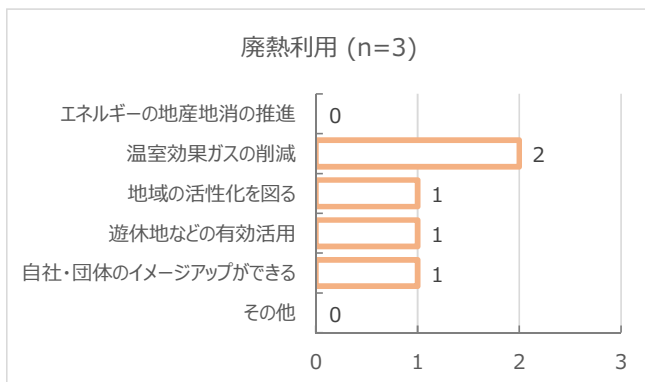
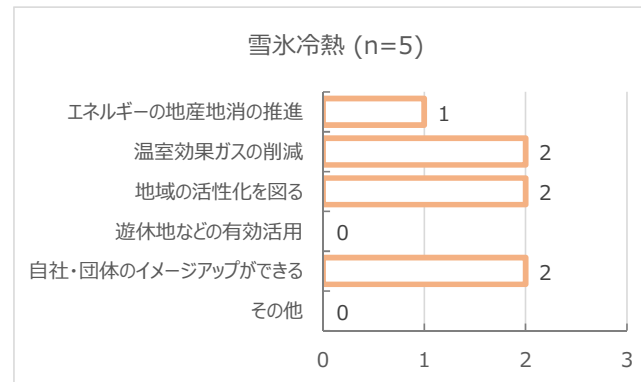
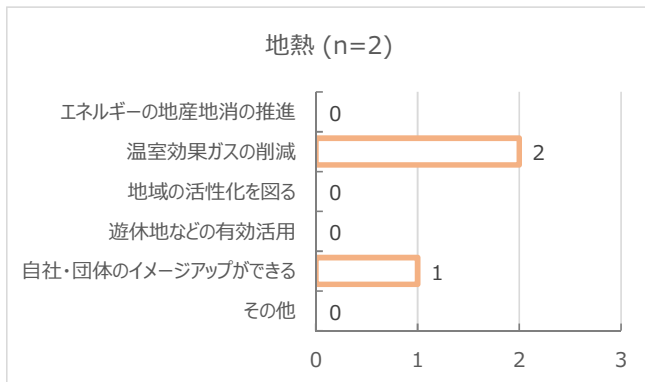
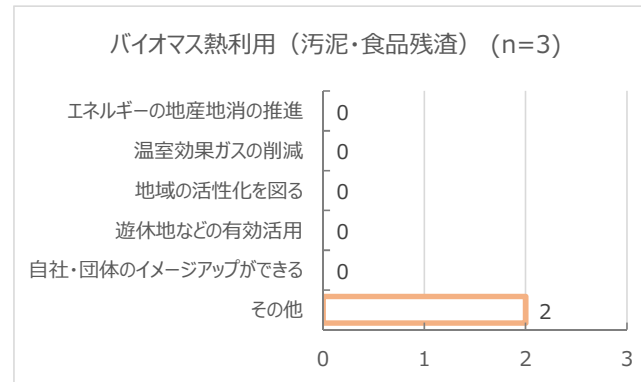
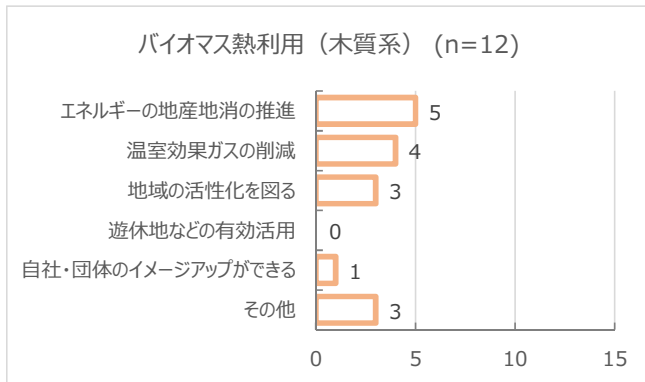


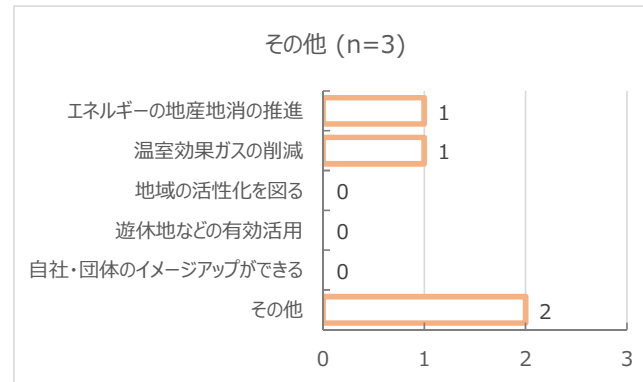
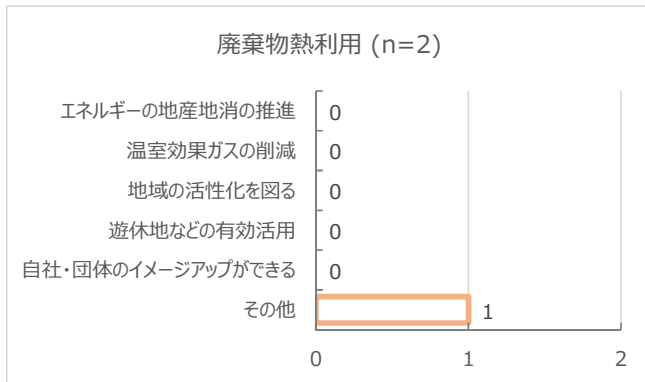
・主なその他内容：発電事業（売電）のため



・主なその他内容：ふん尿処理（悪臭対策）のため





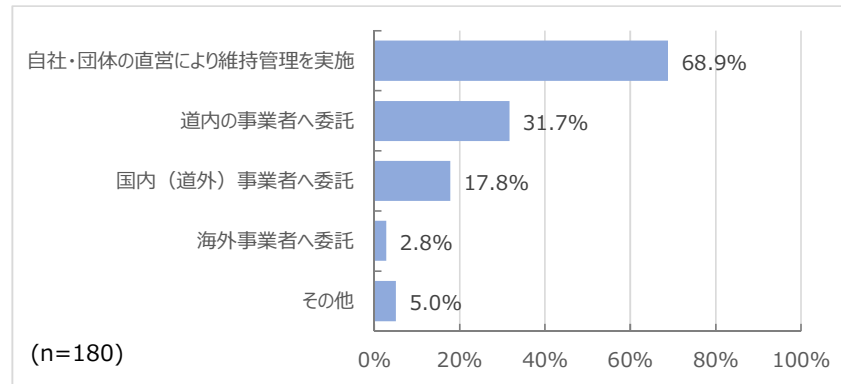


【稼働中】維持管理者（MA）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
自社・団体の直営により維持管理を実施	124	68.9%
道内の事業者へ委託	57	31.7%
国内（道外）事業者へ委託	32	17.8%
海外事業者へ委託	5	2.8%
その他	9	5.0%
回答者数	180	

(n=180)



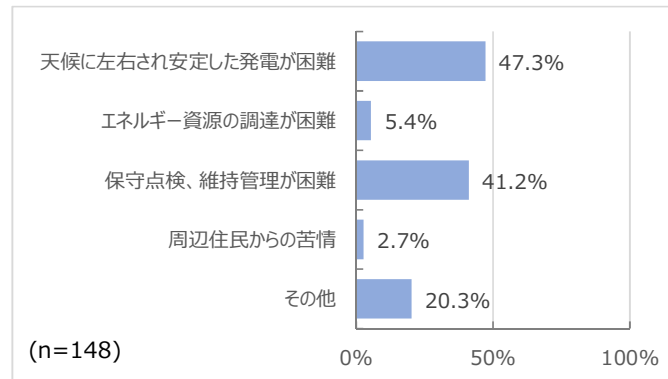
【稼働中】運用上の課題（MA）

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
天候に左右され安定した発電が困難	70	47.3%
エネルギー資源の調達が困難	8	5.4%
保守点検、維持管理が困難	61	41.2%
周辺住民からの苦情	4	2.7%
その他	30	20.3%
回答者数	148	

(n=148)

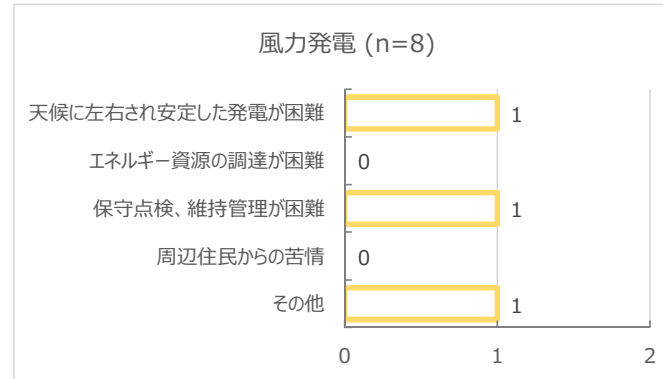
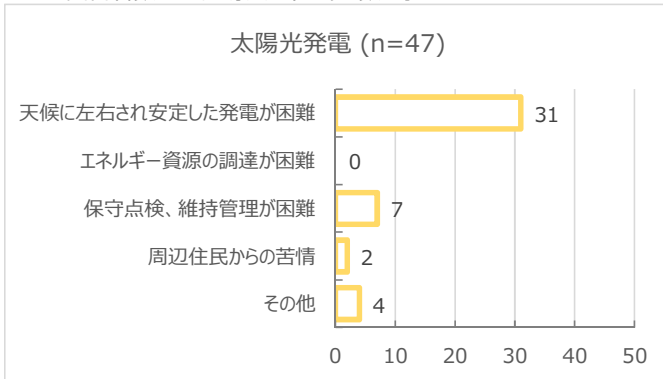
特徴的な内容
・人材不足

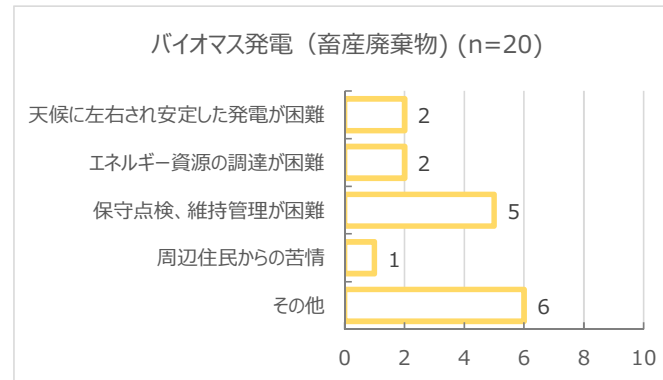
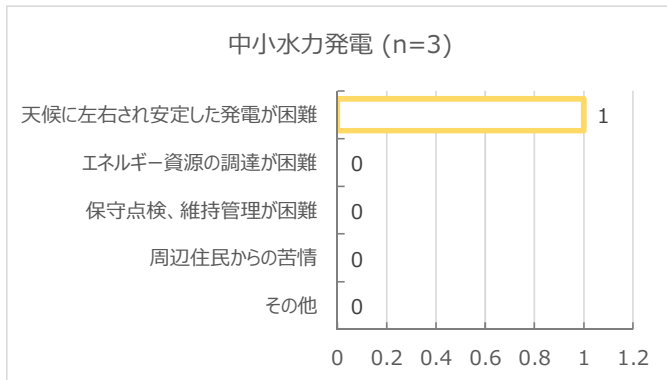


運用上の課題と稼働中新エネ種類のクロス集計

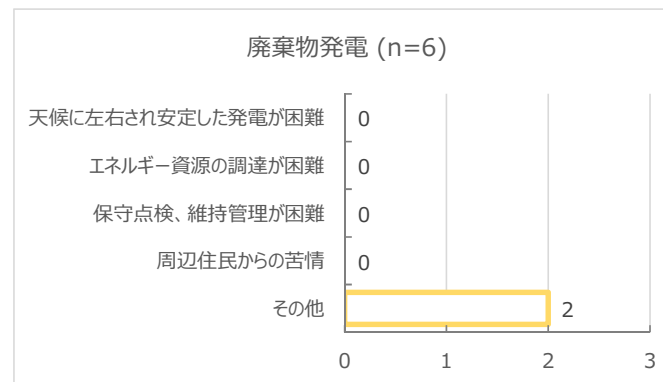
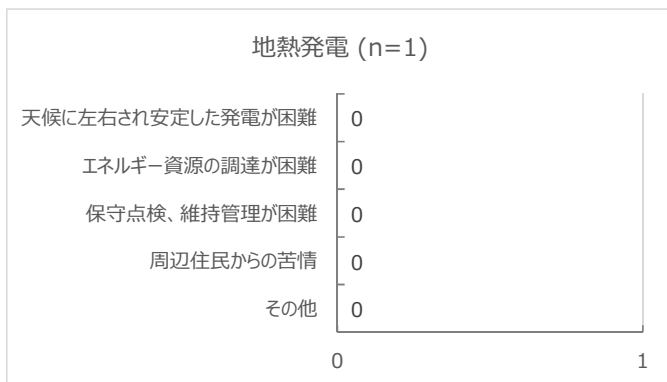
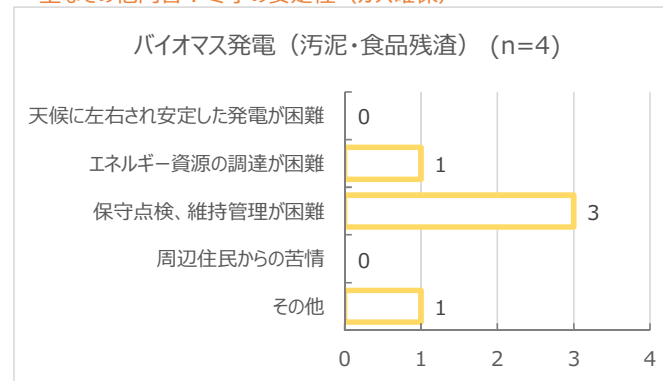
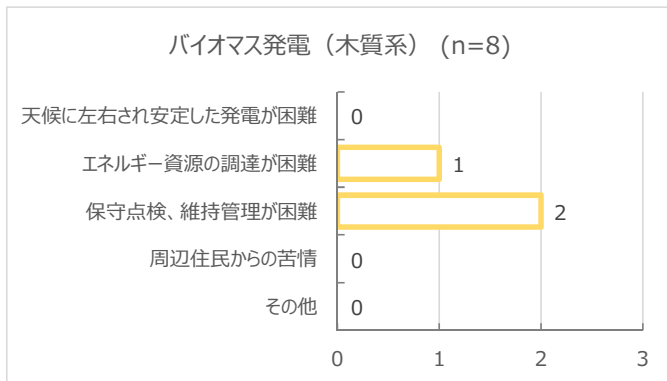
	天候に左右され安定した発電が困難	エネルギー資源の調達が困難	保守点検、維持管理が困難	周辺住民からの苦情	その他	天候に左右され安定した発電が困難	エネルギー資源の調達が困難	保守点検、維持管理が困難	周辺住民からの苦情	その他
太陽光発電	31	0	7	2	4	66.0%	0.0%	14.9%	4.3%	8.5%
風力発電	1	0	1	0	1	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%
中小水力発電	1	0	0	0	0	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	2	2	5	1	6	10.0%	10.0%	25.0%	5.0%	30.0%
バイオマス発電（木質系）	0	1	2	0	0	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	0.0%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	0	1	3	0	1	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	25.0%
地熱発電	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
廃棄物発電	0	0	0	0	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
太陽熱発電	0	0	0	0	0					
廃熱発電	0	0	0	0	0					
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0	0	0	0					
バイオマス熱利用（木質系）	0	1	4	1	1	0.0%	8.3%	33.3%	8.3%	8.3%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	0	0	2	0	0	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%
地熱	0	0	2	0	0	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
雪氷冷熱	0	1	2	0	0	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%
水温度差熱	0	0	0	0	0					
廃熱利用	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地中熱利用	1	0	3	0	1	12.5%	0.0%	37.5%	0.0%	12.5%
廃棄物熱利用	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	0	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	36	6	31	4	16	30.0%	5.0%	25.8%	3.3%	13.3%

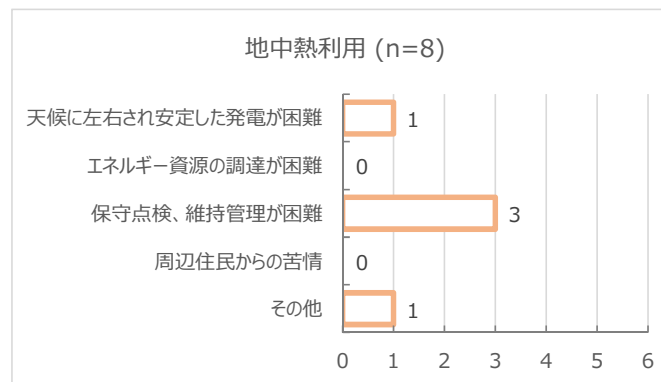
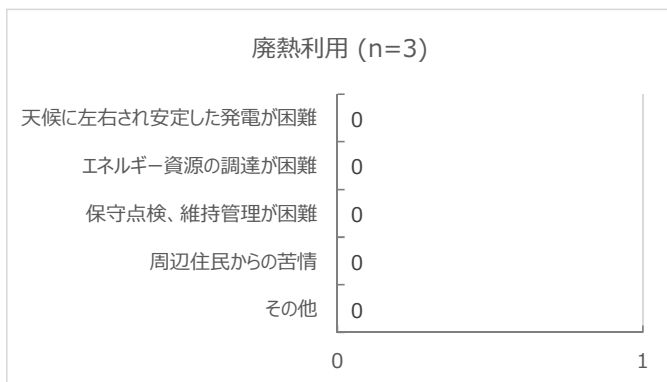
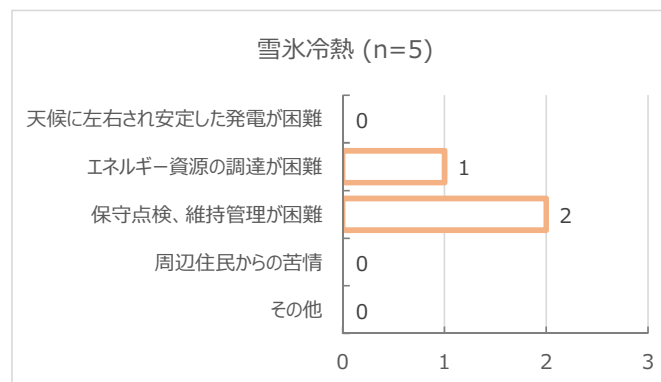
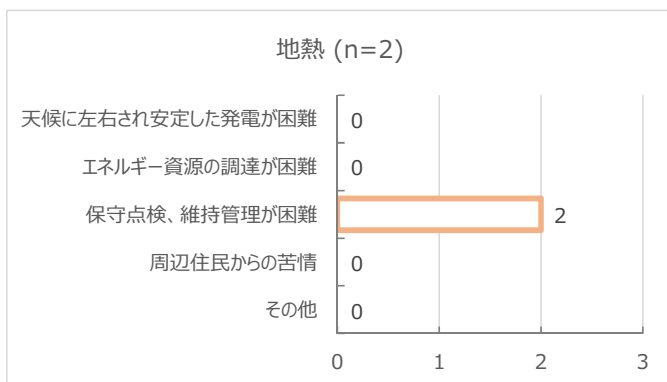
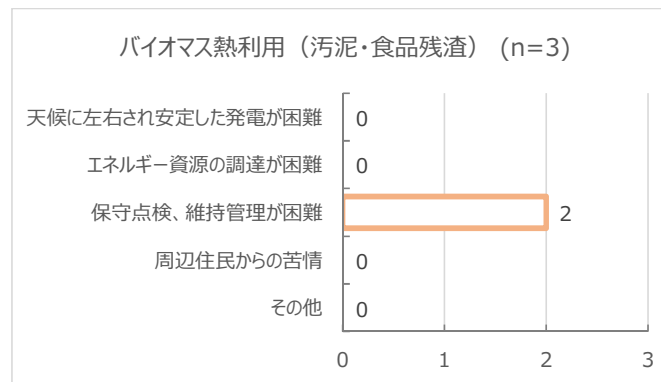
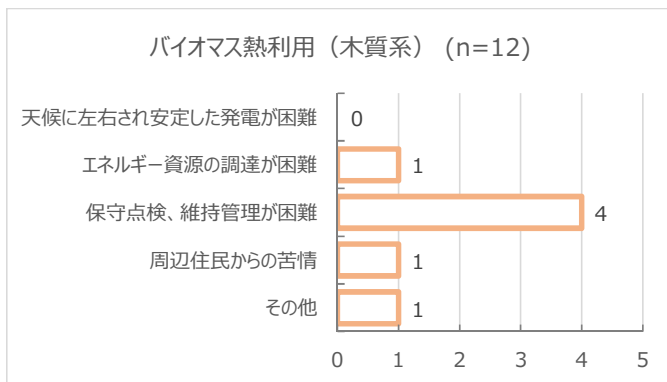
※nは回答者数ではなく導入エネルギー数を示しています



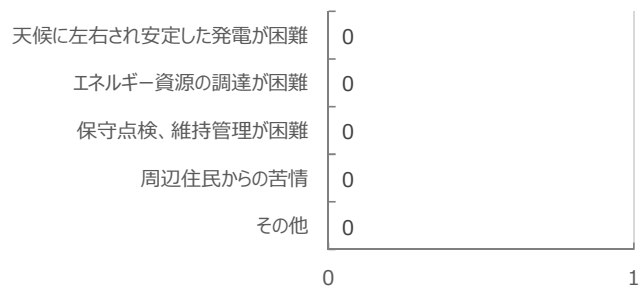


・主なその他内容：冬季の安定性（ガス確保）

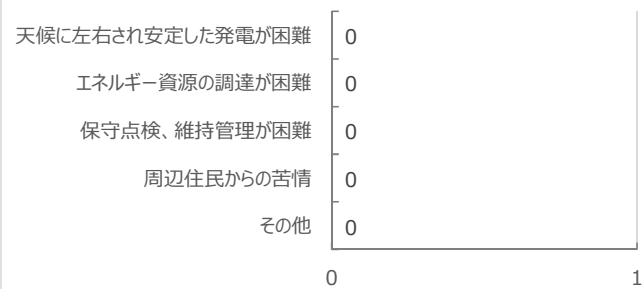




廃棄物熱利用 (n=2)



その他 (n=3)



【稼働中】住民からの苦情の内訳 (MA)

※「周辺住民からの苦情」があった場合、その詳細についてお答えください

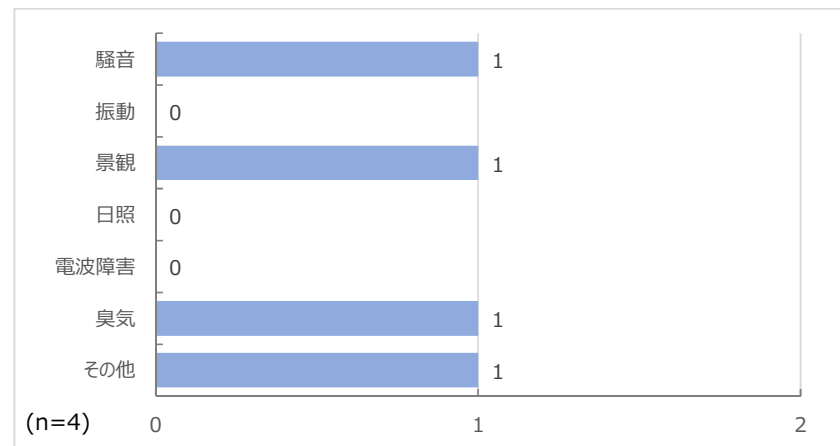
※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
騒音	1	25.0%
振動	0	0.0%
景観	1	25.0%
日照	0	0.0%
電波障害	0	0.0%
臭気	1	25.0%
その他	1	25.0%
回答者数	4	

(n=4)

特徴的な内容

・シャドーフリッカー：風車の羽が旋回することで影が明滅すること（風力発電）



3 貴団体・事業者の新エネ施設のうち整備中・計画のものについて

【整備中・計画】新エネの種類 (SA)

選択肢	回答数	構成比
太陽光発電	4	30.8%
風力発電	3	23.1%
中小水力発電	1	7.7%
バイオマス発電 (畜産廃棄物)	3	23.1%
バイオマス発電 (木質系)	1	7.7%
バイオマス発電 (汚泥・食品残渣)	0	0.0%
地熱発電	1	7.7%
廃棄物発電	0	0.0%
太陽熱発電	0	0.0%
廃熱発電	1	7.7%
バイオマス熱利用 (畜産廃棄物)	0	0.0%
バイオマス熱利用 (木質系)	1	7.7%
バイオマス熱利用 (汚泥・食品残渣)	1	7.7%
地熱	0	0.0%
雪氷冷熱	0	0.0%
水温度差熱	0	0.0%
廃熱利用	0	0.0%
地中熱利用	1	7.7%
廃棄物熱利用	0	0.0%
その他	1	7.7%
合計	13	138.5%

(n=13)

特徴的な内容
・水素

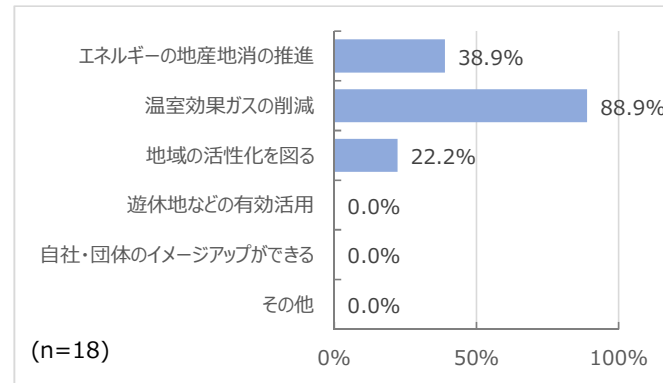


【整備中・計画中】導入目的 (MA)

※nは回答者数ではなく施設数を示しています

選択肢	回答数	構成比
エネルギーの地産地消の推進	7	38.9%
温室効果ガスの削減	16	88.9%
地域の活性化を図る	4	22.2%
遊休地などの有効活用	0	0.0%
自社・団体のイメージアップができる	0	0.0%
その他	0	0.0%
回答者数	18	

(n=18)

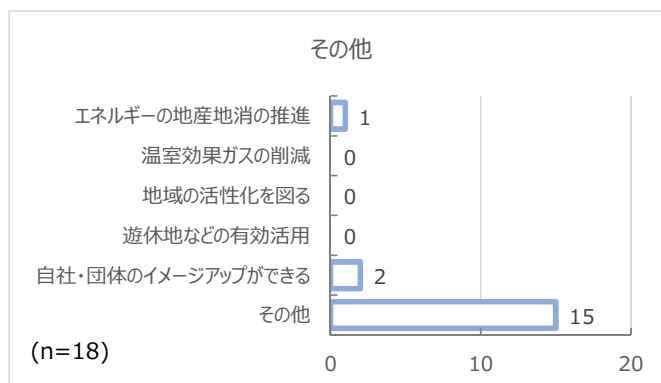
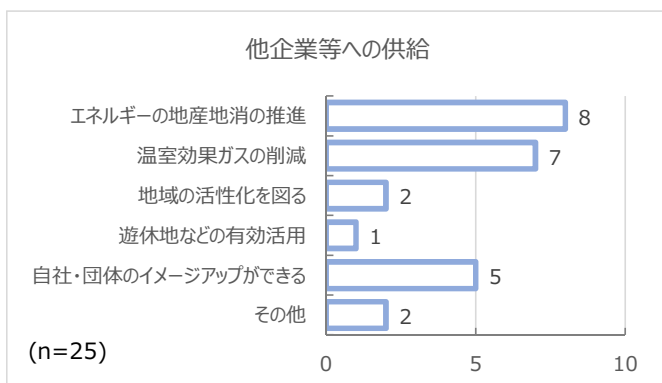
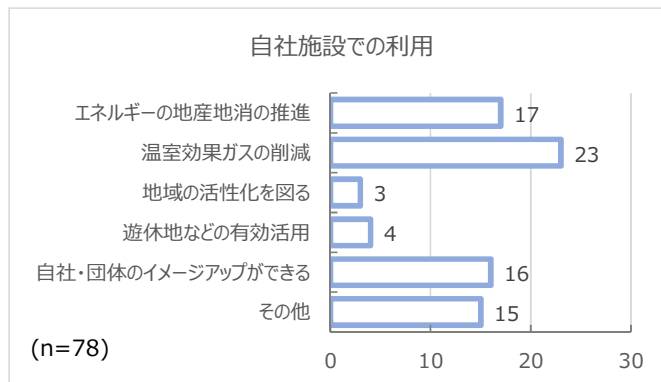
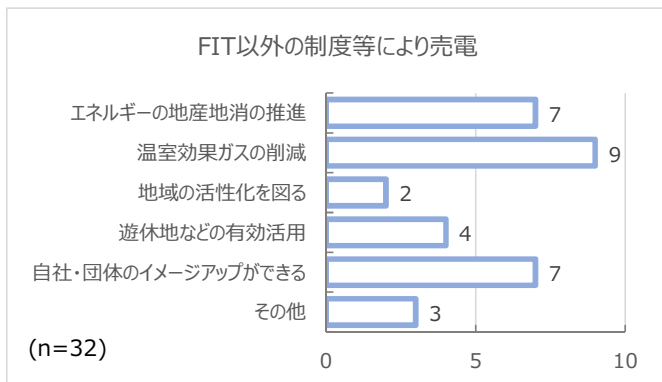
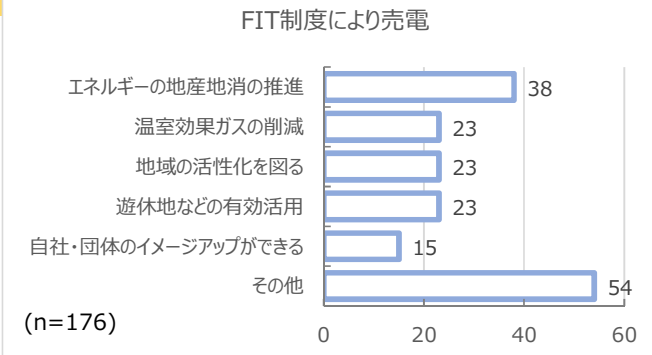


5 新エネにより発電した電気の利用方法

発電した新エネ電気の利用方法と新エネ導入目的のクロス集計

	FIT制度により売電	FIT以外の制度等により売電	自社施設での利用	他企業等への供給	その他
エネルギーの地産地消の推進	38	7	17	8	1
温室効果ガスの削減	23	9	23	7	0
地域の活性化を図る	23	2	3	2	0
遊休地などの有効活用	23	4	4	1	0
自社・団体のイメージアップができる	15	7	16	5	2
その他	54	3	15	2	15
合計	176	32	78	25	18

(n=176) (n=32) (n=78) (n=25) (n=18)

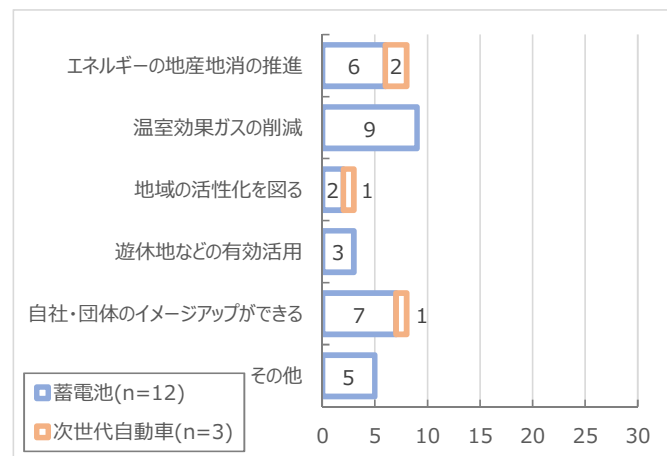


8 新エネ用の蓄電池等整備状況

蓄電池等整備状況と新エネ導入目的のクロス集計

	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用
エネルギーの地産地消の推進	6	2	50.0%	66.7%
温室効果ガスの削減	9	0	75.0%	0.0%
地域の活性化を図る	2	1	16.7%	33.3%
遊休地などの有効活用	3	0	25.0%	0.0%
自社・団体のイメージアップができる	7	1	58.3%	33.3%
その他	5	0	41.7%	0.0%
合計	12	3		

(n=12) (n=3)



蓄電池等整備状況と稼働中新エネ種類のクロス集計

	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用	新エネ発電施設に専用の蓄電池を備えている	次世代自動車(EV・PHV等)の蓄電池を活用
太陽光発電	9	2	75.0%	66.7%
風力発電	1	0	8.3%	0.0%
中小水力発電	0	0	0.0%	0.0%
バイオマス発電（畜産廃棄物）	0	1	0.0%	33.3%
バイオマス発電（木質系）	1	0	8.3%	0.0%
バイオマス発電（汚泥・食品残渣）	0	0	0.0%	0.0%
地熱発電	0	0	0.0%	0.0%
廃棄物発電	0	0	0.0%	0.0%
太陽熱発電	0	0	0.0%	0.0%
廃熱発電	0	0	0.0%	0.0%
バイオマス熱利用（畜産廃棄物）	0	0	0.0%	0.0%
バイオマス熱利用（木質系）	0	0	0.0%	0.0%
バイオマス熱利用（汚泥・食品残渣）	0	0	0.0%	0.0%
地熱	0	0	0.0%	0.0%
雪氷冷熱	0	0	0.0%	0.0%
水温度差熱	0	0	0.0%	0.0%
廃熱利用	0	0	0.0%	0.0%
地中熱利用	1	0	8.3%	0.0%
廃棄物熱利用	0	0	0.0%	0.0%
その他	0	0	0.0%	0.0%
合計	12	3	100.0%	100.0%

(n=12) (n=3)

